

平成29年度  
学校評価報告書



黒部市立荻生小学校

# 目 次

## I 学校評価実施計画

- 1 目標・方針・年間計画 . . . . . 1
- 2 アクションプラン . . . . . 2

## II 内部評価

- 1 教務部会 . . . . . 3
- 2 健康安全部会 . . . . . 9
- 3 生徒指導部会 . . . . . 14

## III 外部評価

- 1 学校評議員会記録 . . . . . 21
  - (1) 第1回学校評議員会（6月28日開催）まとめ
  - (2) 第2回学校評議員会（3月 2日開催）まとめ
- 2 保護者アンケート結果と児童自己評価 . . . . . 23
  - (1) 第1回（1学期実施）
  - (2) 第2回（2学期実施）
- 3 保護者アンケート自由記述まとめ . . . . . 26

## IV アクションプラン最終報告 . . . . . 31

## V 資料

- 1 学校評議員会資料
  - (1) 第1回学校評議員会（6月28日開催）
  - (2) 第2回学校評議員会（3月 2日開催）
- 2 保護者アンケート用紙、児童自己評価カード

# I 学校評価実施計画

## 1 学校評価実施計画

### (1) 目標

- ① 教育活動や学校運営の状況について、客観的・総合的に評価し、教育活動や学校運営の改善・充実を図る。
- ② とやま型学校評価（数値目標、外部評価、公開）に積極的に取り組み、家庭や地域社会に開かれ、地域に信頼される学校づくりを推進する。

### (2) 基本方針

- ① とやま型学校評価（アクションプラン）の重点項目の設定をする。
  - ② 校務分掌部会で具体的方策を練り上げ、全教職員の共通理解のもと共通実践を進める。
  - ③ 教職員による学校内部評価と教職員以外による外部評価の二本立てとする。
  - ④ 内部評価については教育計画書の評価欄を活用し、学期ごとに振り返り、改善を図る。
  - ⑤ 外部評価については、年間2回の保護者アンケート・児童自己評価カード、年間2回の学校評議員会によって行う。
- ※ 学校評議員会には、校長・教頭・PTA会長・荻生自治振興会長・公民館長・主任児童委員・保育所長が参加する。

### ⑥ 本年度の重点

|          | 重点課題                        | 担当     |
|----------|-----------------------------|--------|
| 徳（やさしく）  | 好ましい人間関係を築く子供の育成            | 生徒指導部会 |
| 知（かしこく）  | 自主的に学習する子供の育成               | 教務部会   |
| 体（たくましく） | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成 | 健康安全部会 |
| 総括       | 全体の考察、次年度への見通しと展望           | 教頭     |

### (3) 年間計画

| 月  | 会議等                  | 内容  | 公表等                    |
|----|----------------------|---|------------------------|
| 4  | 企画委員会・職員会議<br>校務分掌部会 | 学校評価の基本方針の共通理解<br>教育計画書の評価欄の作成<br>アクションプラン策定    |                        |
| 5  | 職員会議                 | 児童自己評価カードの内容検討                                  | 学校だより<br>アクションプラン公表    |
| 6  | 第1回学校評議員会            | 「とやま型学校評価」の趣旨及び<br>アクションプランの説明<br>児童自己評価カードの実施① | 学校だより                  |
| 7  | 職員会議・校務分掌部会          | 保護者アンケート実施①<br>内部評価                             | 学校評議員会記録公表             |
| 8  | 企画委員会・職員会議           | 結果の分析と改善案の策定                                    |                        |
| 9  | 職員会議・校務分掌部会          | 改善策の実行  |                        |
| 10 |                      | アクションプランの中間報告<br>外部評価の分析                        | 学校だより<br>保護者のアンケート結果報告 |
| 11 |                      | 児童自己評価カードの実施②<br>保護者アンケート実施②                    |                        |
| 12 | 校務分掌部会               | 内部評価  | 結果の分析と改善案の策定           |
| 1  | 企画委員会・職員会議           | 内部評価・外部評価分析                                     | 共通理解                   |
| 2  | 第2回学校評議員会            | アクションプランの取組の評価<br>アクションプランの最終報告                 | 学校だより<br>保護者のアンケート結果報告 |
| 3  | 職員会議                 | 次年度の方針立案  | 学校だより<br>最終報告          |

## 2 アクションプラン

| 平成 29 年度 荻生小学校アクションプラン 1 |  |
|--------------------------|--|
| 重点項目                     | 【徳】生徒指導 一やさしく一   |
| 重点課題                     | 好ましい人間関係を築く子供の育成   |
| 現 状                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会が中心となり、地域と連携して「さわやか挨拶運動」を推進した結果、あいさつに対する意識が高まり、明るく元気に挨拶をする子供は増えている。</li> <li>・朝だけでなく「いつでも」、校内だけでなく「どこでも」、地域の方や来校者など「誰にでも」、明るく大きな「相手に伝わる声で」挨拶ができるようにするため、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・温かい人間関係づくりのため挨拶と同様に大切にしたい言葉遣いについては、乱暴な言葉遣いや名前の呼び捨てをするなど、指導が必要な子供が見られる。</li> </ul> |
| 達成目標                     | 強調週間を設け、児童の自己評価で元気のよいあいさつや望ましい言葉遣いができたとする日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。   |
| 方 策                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼び掛ける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識を高める。</li> <li>② 年間を通して4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進する。</li> <li>③ 計画委員会や代表委員会が中心となり、全校で「ぼかぼか言葉」を推進する。</li> <li>④ 積極的な生徒指導により、互いのよさや違いを認め、励まし合える集団づくりに努める。</li> </ol>  |
| 平成 29 年度 荻生小学校アクションプラン 2 |  |
| 重点項目                     | 【知】学力向上 一かしこく一   |
| 重点課題                     | 自主的に学習する子供の育成  |
| 現 状                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習がんばり週間を隔月で設けたり、自学ノートカバーを効果的に活用したりすることで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子供が増えている。</li> <li>・確かな学力の定着のため、学習規律（返事、姿勢、鉛筆の持ち方等）の定着を図ったり、「聞く・書く・話す（発表）」活動を大切にしたりした結果、落ち着いて意欲的に学習に取り組む子供が増えている。</li> <li>・家庭学習（自学ノート）の内容については、十分でない面も見られる。</li> </ul>                                      |
| 達成目標                     | 強調週間を設け、家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。  |
| 方 策                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭と連携して、家庭学習の習慣が身に付くように努める。</li> <li>② 「自学ノート展」等でよいノートを展示したり、授業と連動した内容を提示したりすることにより、自学の内容面の充実に努める。</li> <li>③ 学習規律を大切に、安心して授業に参加できる雰囲気づくりに努める。</li> </ol>   |
| 平成 29 年度 荻生小学校アクションプラン 3 |  |
| 重点項目                     | 【体】健康・安全の指導 一たくましく一  |
| 重点課題                     | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成  |
| 現 状                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大休憩や昼休みには進んでグラウンドや体育館へ行き、体を動かす子供が多く、「みんなでチャレンジ3015」にも意欲的に取り組んでいる子供が多い。</li> <li>・日頃から体を動かすことを好み、進んで運動する子供と、わんぱくタイム等特設された時間以外には体を動かさない子供の差が大きい。運動の苦手な子供も無理なく、日常的に運動に親しむことができるような工夫を行っていく必要がある。</li> <li>・基本的な生活習慣が身に付いた子供は増えてきたが、就寝時刻が遅く、睡眠時間が十分でない子供もいる。</li> </ul>      |
| 達成目標                     | 「みんなでチャレンジ3015」の達成率が90%以上になることを目指す。  |
| 方 策                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 週2回のわんぱくタイム（大休憩時）には、ランニング（晴天時）と長なわとび（雨天時）等に取り組み、運動する喜びを感じ取ることができるようにする。</li> <li>② 体育委員会による企画や「みんなでチャレンジ3015」「なわとびカード」等の活用により、運動する環境づくりを行い、運動する習慣が身に付くように努める。</li> <li>③ 「みんなでチャレンジ3015」の達成状況を掲示したり、紹介したりすることにより意欲付けを図る。</li> </ol>                                     |



## II 内部評価

### 1 教務部会 (平成29年度 第1学期 内部評価)

Aできた B概ねできた Cあまりできなかった Dできなかった

| No. | ページ      | 評価の観点       | 評価 |   |   |   | ※自由記述の部分は、意図を変えないよう少々文章を変えます。了承ください。(伊藤)   |
|-----|----------|-------------|----|---|---|---|--|
|     |          |             | A  | B | C | D |  |
| 教務① | 18       | ①研修の実施      | 2  | 7 | 0 | 1 | ○…よい成果・今後も進めたい点 ▲…課題・改善が必要☆…改善に向けた具体的な方策   |
|     |          | ②研修の活性化     | 2  | 7 | 0 | 1 | ○忙しい中、研究授業を計画通り進められた。<br>○事前、事後研が効率的に行われた。<br>○ねらいが明確で、細かいところまで配慮の行き届いた研究授業を見せていただき、勉強になった。<br>○付箋を使って話し合い、意見を出す研修の仕方がとても分かりやすかった。よかった点と改善点が明確に分かるので授業者としても分かりやすいのではないと思う。<br>○各部会1授業ずつ互見授業を実施することができた。<br>○3つの視点をはっきり明示したことで授業を参観するときに意識できた。<br>○11月1日の訪問研に向けて、計画的に部会研や各自で進めていく。<br>▲7月に実施予定だった水島先生の相互参観授業ができなかった。学期末の忙しい時期なのに7月に2つの授業は無理があった。6月に2つできるとよい。<br>▲互見授業を実施できなかった。(自己の健康管理を怠ったことと授業の進捗を計画的に進められなかった) |
| 教務② | 16<br>17 | ①学級集団づくり    | 1  | 8 | 1 | 0 | ○Q-U調査や生活アンケートの実施、「話し合いのルール」「話し方・聞き方」の掲示、「身に付けたい学習の基本」の配布が計画的に行われていた。<br>▲多忙感が強く、一つ一つじっくり取り組む余裕がなかった。そのため効果がなかなか実感できなかった。  |
|     |          | ②授業づくり      | 1  | 8 | 1 | 0 | ○ノートの書き方では、「学習課題」や「まとめ」を書く習慣が身に付いてきた。<br>▲「ふり返り」の時間を十分もつことができなかった。<br>▲自学ノートは、子供や家庭で意識の高さの差が大きい。<br>▲学活等でグループエンカウンターを用いた活動やアサーショントレーニングを行い、仲良くなったり相手を思いやる言動について気付かせたりする機会をもたせたかった。<br>☆学年だよりの発行回数を増やしたい。   |
|     |          | ③家庭との連携     | 2  | 7 | 1 | 0 | ○ねらいを明確にしての授業構想であり、ねらいを達成できるための工夫を感じられる授業づくりをされており、とても勉強になった。<br>○家庭学習が定着している子供が増えている。<br>○学習規律について、時々自分でチェックをするとよい。(校長先生のプリントで)共通理解したことは共通行動をとる。  |
| 教務③ | 21       | ①時間の確保      | 4  | 4 | 2 | 0 | ○週1時間の道徳の授業の時間は確保した。<br>○「わたしたちの道徳」を活用した。  |
|     |          | ②他の教科領域との関連 | 2  | 3 | 5 | 0 | ○設定された時間と合わせて、必要時に道徳の時間を設けてみた。子供たちのモチベーションは高かった。<br>○書き込むページを中心に活用し、家庭での宿題としても取り組ませたので、家の人と共に考えることもあったと考える。<br>○道徳に時間を軸として、各教科でも違いやよさを認め合う場を設けることができた。<br>○週1回の道徳が実施されている。来年の教科化に向けて議論する道徳になるようにしていく。他教科の話し合いも同じだと思う。  |
|     |          | ③わたしたちの道徳   | 1  | 7 | 1 | 1 | ☆今年度末には新しい教科書に合わせた別業、年間指導計画の作成が必要になると思う。<br>▲朝の活動のソーシャルスキルトレーニングを実施しなかった。他の活動(漢字テストやプリント直し等)を優先してしまったため。2学期に1学期の2回分を確保したい。<br>▲事前に教材研究を行う余裕がなく、道徳らしい授業を仕組むことができなかった。<br>▲道徳の時間に、アンケートやいろいろな活動の振り返り等を行うことがあった。<br>▲異学年でどの教材を使って、どうやって道徳の授業をやっているか分からなかった。   |

|     |    |          |                  |   |   |   |   |   |
|-----|----|----------|------------------|---|---|---|---|---|
| 教務④ | 45 | キャリア     | ①指導の工夫           | 1 | 4 | 5 | 0 | ○委員会活動をしている5・6年生を見ているためか、下学年でも当番活動や係活動に積極的に取り組む雰囲気が学校全体で出ていて、すごくいいと思う。<br>○育成すべき能力や態度は大切なことばかりで普段から意識していくとよい。   |
| 教務⑤ | 47 | 国際理解教育   | ①人権、文化           | 1 | 7 | 2 | 0 | ○ALT、JAT との交流を通して、外国文化への興味が出てきているように感じる。給食の時の「サマンサタイム」でいつも周りの児童が何と言ったか推測していて、分かろうとしている姿勢を感じる。<br>○ALT、JAT との交流を楽しんでいる子供が多い。<br>▲特筆する取組がなかった。  |
|     |    |          | ②コミュニケーション       | 2 | 5 | 3 | 0 |   |
| 教務⑥ | 49 | 情報教育     | ①情報活用能力          | 0 | 4 | 3 | 3 | ○総合の調べ学習で、友達と協力しながら取り組むことができた。分からない操作や調べ方について話し合いながら進めていく姿がよく見られた。<br>○全校対象のアンケートを実施して実態がはっきりしてよかった。<br>○2・3学期にPCの講師が来られるので有効活用したい。(特に下学年)<br>▲パソコンの操作の基本から低学年の子供に教えることは担任一人では効率が悪く、時間をかけるだけの成果があるとも思えないので実施していない。<br>▲総合でコンピュータ室を利用したが、使用できる台数が限られ、効率的に使用することが難しかった。<br>▲1学期は情報教育の時間確保が難しかった。2学期に設けたい。<br>▲パソコンを使う機会があまりなかった。使えるパソコンがあまりないので設備を整えてほしい。<br>☆情報モラルの教育について、学年相当の指導計画があったらよい。(内容例だけでなく、このサイトを使おうなどの具体的なもの) |
|     |    |          | ②コンピュータ操作        | 0 | 5 | 2 | 3 |   |
|     |    |          | ③情報モラル           | 1 | 4 | 4 | 1 |   |
| 教務⑦ | 51 | 情報(運用管理) | ④コンピュータの使用       | 2 | 7 | 1 | 0 | ○情報漏洩に全体で気を付けてコンピュータを使用していていいと思う。<br>○HPがこまめに更新されている。<br>▲セキュリティについて、各自しっかりとルールを守っていく。<br>▲PCの整備。<br>▲グループとしては使いこなしたが、個人で使いこなすことが難しい子供もいた。そのためもっと台数を増やし、個別に取り組めるようにしてほしい。   |
|     |    |          | ⑤データの保存          | 3 | 5 | 1 | 1 |   |
|     |    |          | ⑥USB 個人情報        | 5 | 5 | 0 | 0 |   |
| 教務⑧ | 52 | 図書館教育    | ①図書館の環境          | 4 | 5 | 1 | 0 | ○短期目標の達成者が68名だった。少し学年差があったので、お昼の放送などを活用して、もう少し呼びかけたい。(常時)。<br>○時間があれば読書に取り組んだことで、本のもつ魅力に気付き、時間があれば自ら本を開く子供が増えた。<br>○図書室の表示がとても分かりやすい。自分の読みたい本が見分けやすく配置されていると感じた。<br>○どの教室も静かに落ち着いて朝読書ができていた。家での読書につながるとよい。<br>▲朝読書は、大体実施したが、読書の記録の時間をあまり確保できず、子供たちに任せていたところ、目標達成者がとても少なかった。(2年:3人)声掛けだけでなく時間の確保が必要。<br>☆特支の子供たちは、読んでもなかなか記録しないので特支用の簡単なものがあると助かる。   |
|     |    |          | ②朝の読書            | 4 | 4 | 2 | 0 |   |
| 教務⑨ | 53 | 環境教育     | ①環境を大切に<br>する態度  | 0 | 8 | 1 | 0 | ○リサイクルに協力した子供は、ランチルームで名前を言ってやるとよいのではないかな。<br>○一人一鉢の世話を熱心に行っていた。   |
|     |    |          | ②体験・環境保<br>全     | 0 | 9 | 0 | 0 |   |
| 教務⑩ | 56 | 英会話推進    | ①指導内容の実<br>施     | 3 | 5 | 0 | 0 | ○学期末にHRTが構想した授業を行うことができた。<br>○JATのおかげで、実態に応じた効果的な活動を行い、成果をあげることができた。また、学習参観という目当てに向けて、課外にも練習して英語表現を身に付けることがで  |
|     |    |          | ②コミュニケー<br>ション活動 | 4 | 4 | 0 | 0 |   |

|   |    |                          |   |   |   |   |  |
|---|----|--------------------------|---|---|---|---|--|
|   |    | ③Hi-friend等の活用           | 0 | 2 | 1 | 3 | きた。<br>○打合せの時間がとれない中、先生方から声をかけて打合せをしてもらっている。<br>▲Hi-friendの活用ができなかった。JAT、ALTがいない時に使ってみることに挑戦してみたい。   |
| 教務⑪   | 57 | 道徳の時間<br>①心に響く授業         | 0 | 5 | 3 | 1 | ▲心に響くような活動ができなかった。<br>☆来年から評価が必要になることもあるので、道徳用のノート等を用意して書きためておく。(心の成長が分かるように)  |
| 教務⑫   | 58 | 総合的な学習<br>①他教科関連・指導計画の工夫 | 0 | 3 | 4 | 0 | ☆来年度に向けて年間指導計画の見直しが必要になると思う。   |
| 教務⑬   | 72 | 学習評価<br>①適切な評価           | 0 | 9 | 0 | 0 | ○評価を次の指導へと生かしていく。  |
| 教務⑭   | 73 | ①ニーズの把握                  | 3 | 4 | 2 | 0 | ○あおぞらとひまわりで協力して学習を進めている。9人で仲よく活動している。<br>▲児童の教育的ニーズは、子供の様子を見て、こちらで判断して、それをニーズとしているので、子供自身の願いとは異なると思う。(本人・保護者との合意形成を明確には行っていない)<br>▲まだ模索状態なので引き続き実態把握をきちんとして指導にあたりたい。 |
|   |    | ②情報の共通理解と適切な指導           | 2 | 6 | 1 | 0 |  |
| 教務部会その他<br>・TTの授業を減らして持ち時数を減らし、空き時間に授業の準備等ができるようにしてほしい。 |    |                          |   |   |   |   |  |

# 平成29度1学期を振り返って

( 教務) 部会

## よい成果・今後も進めたい点

- ・校内相互参観授業の事前研・事後研を効率的に行うことができた。特に付箋を使った話し合いでは、全員が自分の意見を出し、協議に反映することができた。授業者にとっては、よい点や改善点を具体的に知ることができ、次につながる研修になった。マジックで内容を分類することで論点を絞ることもできた。
- ・学習規律の徹底に向けて、共通理解・共通行動を心掛けている。継続したい。(校長先生のプリント)
- ・家庭学習が定着している子供が多くいる。
- ・道徳の時間の確保や「私たちの道徳」の活用ができています。
- ・ALT・JATとの交流を楽しんでいる。サム先生に個別指導をしてもらい、苦手を解消した子供もいた。(Pさん)
- ・HPがタイムリーに更新されている。
- ・英会話の打合わせを意識して行っている。HRTから声をかけていく。
- ・あおぞら級とひまわり級で協力して学習を進めることができた。1年生3人も落ち着いて学習できている。

## 課題・改善が必要

- ・昨年度校内相互参観授業が同時期に集中したので、そうならないように計画的に行う。早めに研究主任に相談して時期を決める。
- ・板書カード(縦・横)が足りない学級がある。種類は次の5種類でよいか(学習課題・めあて・ポイント・まとめ・振り返り)
- ・学習規律の徹底については、学期の始めに再確認し、守らせる。(特に返事や筆箱、下敷き)
- ・「考え、議論する道徳」「評価」を念頭に道徳の時間を行う。話し合いができる子供を全教科で育てていく。また、ノートかファイルを用意して子供の考えを残していく。(心の成長がわかるように)
- ・英会話の担任構想授業は、実施できた学年とできなかった学年がある。2学期も計画しているので実施する。
- ・PCの指導を担当だけではやりにくいので、できなかった。
- ・読書貯金の記録をしっかりとできなかった学年があった。声掛けが必要。

## 改善に向けた具体的な方策

- ・板書カードは、特別支援の見地からゴシック体がどの子供にとっても見やすいそうなので、全校のカードを新しく作る。
- ・家庭学習は、「毎日取り組む」はできているが、「内容の充実」は個人差が大きい。よいノートを紹介したり、がんばったときには大いに褒めたりして、意識を高めていく。
- ・2・3学期に情報教育の講師が来られるので、それをきっかけに積極的にPCに触れさせたい。(20h)
- ・読書貯金の取組に学年差があった。2学期の取組について再確認をしたり、委員会の子供による呼びかけを行ったりする。
- ・特支の子供にも使いやすい記録用紙を用意する。
- ・道徳に関する研修会を、今年度中に行う。
- ・道徳の教科書に合わせて、年間指導計画と別葉の作成が必要になってくる。
- ・高学年の総合も時数が変わるので、見直しが必要になる。



# 平成29度2学期を振り返って

( 教務 ) 部会

## よい成果・今後も進めたい点

- ・12月までに全員が校内相互参観授業を終えることができた。また、事前研・事後研は時間をかけすぎることなく、効率的に行うことができた。
- ・学習規律の徹底に向けて、共通理解・共通行動を心掛けている。継続したい。
- ・家庭学習が定着している子供が多い。特に平日はよく取り組んでいる。
- ・ランチルームでの校長先生のお話（7冊達成者ノートのよいところ）は、自学ノートの内容の充実に向けて効果的である。各教室でも行うとよい。
- ・読書月間や読書貯金の取組で、本に親しむ子供が増えた。読書貯金2学期達成者94人（1学期68人）、読書月間のめあて達成者は105人となった。
- ・得能先生が設置したリクエストボックス（市図書館から借りてきてもらう）を利用している子供もいる。
- ・生活や総合では、体験的な活動を多く取り入れて効果的であった。
- ・ほとんどの学年が、英会話の打合せをHRTから声をかけて行っていた。HRT構想授業を実施できた。
- ・あおぞら級とひまわり級で協力して学習を進め、小集団のなかで発表をしたり、リーダーシップをとったりすることで、力が付いている。
- ・「特別な教科 道徳」について共通理解する時間がとれた。

## 課題・改善が必要

- ・校内相互参観授業が、計画よりも時期が遅れ気味になってしまった。学校訪問とのからみもあり難しい。
- ・指導案に「個」・「ペア」・「グループ」等の学習形態を入れる。振り返りをしっかりと行う。（学校訪問研修会より）
- ・一人一鉢の世話がうまくできなかった子供がいる。特に、アサガオや野菜が終わった後気持ちが途切れてしまった。
- ・さつまいものネズミ被害が大きかった。ハウセンカ・ヒマワリと場所を変えてみてはどうか。
- ・家庭学習への評価が児童と保護者で大きな差がある。児童は強調週間の取組について答え、保護者は普段の様子を答えているからだと思う。
- ・児童・保護者とも中学年の達成率が下がっている。学年×10分を負担に感じ始めたり、習い事やスポ少等で生活が不規則になりやすかったりするところだが、ここを乗り越えることが高学年につながっていくので、励まし認めていく。
- ・チャレンジテストの合格が難しい子供が今回多かった。

## 改善に向けた具体的な方策

- ・「こんな自学どうですか」や「自学ノート展」を継続して、児童の意識の向上や保護者への啓発を続ける。学年便りで紹介してはどうか。
- ・1月に情報教育の講師が来られるので、それをきっかけに積極的にPCに触れさせたい。
- ・2月のチャレンジテスト（2/13～2/26）では、早めに事前練習に取り組むようにする。また、必要に応じて教務が合格の難しい子供や再チャレンジの手伝いをする。
- ・生活科や総合の体験活動やゲストティーチャーについての変更点等を一覧表に書き加えて、H30に参考にできるようにしておく。

## 平成30年度に向けての方針

教務部会

### ○時間割

- ・学期毎の3学期制を続ける。
- ・特別支援級の時間割については、児童の実態や教科等の特性を踏まえて協議する。
- ・ことばの教室と英会話の時間数は増える見込み。

### ○自学ノート

- ・家庭学習＝宿題＋自学、目当ての時間＝10分×学年が定着してきている。7冊達成を目指している子供も多い。H29年度は、4月5日締め切りとする。
- ・来年度も隔月の強調週間と学習参観時のノート展を続ける。学年便りにも、写真を載せて、他の子供の取組を知らせる。

### ○フレンド集会

- ・発表の内容は、一人一人が発言できるものにする。順番に一人ずつでなくてもよい。

### ○委員会活動

- ・冬の活動があまりない委員会もあった。

### ○図書館教育

- ・読書の木の取組を継続する。
- ・得能先生の読み聞かせを1年教室でやりたい。(得能先生の希望 図書室が3階で参加者が少ないため)
- ・図書室の奥の部屋の古い本を処分したい。
- ・伊達さんにもらった本を学級文庫で活用する。

### ○英会話科

- ・H30は週2日来られる予定。
- ・5・6年生は、2学期週2回、年間50時間になる。総/英の時間がある。(1・3学期は総合、2学期は英会話)

### ○総合的な学習の時間

- ・5・6年生は55時間になる。(H30とH31のみ)計画を見直す。

### ○特別支援教育

- ・教育支援委員会は、年3回実施にする。個別の指導計画は4月・10月に短期の目当てを立てるのはどうか。(今までは4月・9月・1月)

### ○情報

- ・HPの更新がされている。教職員全員が更新できるようになるとよい。
- ・PC室の使い方の指導が徹底されなかった。年度当初にしっかりと共通理解し、指導する。

### ○学習規律

- ・共通理解・共通実践を目指す。
- ・筆箱の中身、下敷き、あいさつ等の指導に学級で温度差がないようにする。
- ・掲示物をできたら新しくする。

健康安全部会 (平成 29 年度 第 1 学期 内部評価)

A できた B 概ねできた C あまりできなかった D できなかった

| No.   | ページ | 項目    | 評価の観点        | 評価 (人) |    |   |   | ※自由記述の部分は、意図を変えないよう少々文章を変えます。了承ください。(伊藤)   |
|-------|-----|-------|--------------|--------|----|---|---|--|
|       |     |       |              | A      | B  | C | D |  |
| 健康安全① | 33  | 学校保健  | ①望ましい生活習慣    | 0      | 10 | 0 | 0 | <p>○…よい成果・今後も進めたい点▲…課題・改善が必要☆…改善に向けた具体的な方策</p> <p>○週に一度の健康・清潔チェックで子供たちの意識が高められた。</p> <p>○清潔検査は、結果が保健室の廊下に掲示されていて、子供の目にも留まり効果的である。</p> <p>○清潔検査や歯についての学習で自分たちの取り組んでいる活動(8020 運動や清潔検査等)が自分の将来を守っていくためのものと考えながら取り組む子供が増えた。</p> <p>○薬物乱用防止教室の後、子供たちの会話に「怖いね」「やったらアウト」といった言葉が聞こえたので、正しい判断をする心が育っているように感じた。</p> <p>○保健だよりを毎月読ませることで、ふとした時に「熱中症」のことを口にする児童が現れた。意識して自分の健康に向き合うことができるようになってきたと思う。</p> <p>○「いのちの授業」は、子供たちの心を育てるのに効果的であり今後も続けたい。</p> <p>○週 1 回の生活習慣チェックはよい。正確さには欠けるが啓発にはなっているだろう。<br/>(前髪：基準があいまい、就寝時刻：自己申告)</p> <p>▲就寝時刻が遅い子供に対し、改善を促したが家庭の事情もあり難しい。</p> <p>▲清潔検査が火曜日に 4 項目ある。火曜日の朝活動は、やることが多い。</p> <p>☆毎日 1 項目ずつするとよいのではないか。(来年度からでも) また、ノーゲーム(ノーメディア)の項目を入れてもよい。</p> <p>▲異性や性的なものへの興味が高まっており、知識のない言葉のやり取りが目立つので、その都度、じっくりと話しながら指導していきたい。</p>                 |
|       |     |       | ②保健への関心意欲    | 0      | 10 | 0 | 0 |  |
| 健康安全② | 37  | 学校給食  | ①正しい食生活の習慣づけ | 1      | 9  | 0 | 0 | <p>○アレルギーの対応がきちんとされている。給食主任、校務助手、担任の連携ができてい</p> <p>る。</p> <p>○教師が一人一人の食事の量に配慮して給食指導を行っていた。</p> <p>☆高学年が、低学年の量の調整を行えるようになるとよい。</p> <p>○給食主任が、給食の話や後始末の仕方等に毎日気を配っていた。</p> <p>○ランテールームでの長谷川先生のためになる話を楽しみにしている子供が多く、昼休みに会話のネタになっていることが多い。</p> <p>○「嫌いなものでも一口は食べましょう」という呼びかけをされているので、嫌いなものでも一生懸命に食べようとしている児童が多く見られる。</p> <p>○一人一人に合わせた盛り付けができていた。</p> <p>○グループの中がよかった。上級生が 1 年生をかわいがっていた。</p> <p>▲ランテールームでのマナーが悪い子供に対して、うまく指導できなかった。(放送時に私語を止めない、好き嫌いをするなど)</p> <p>▲少食な子供への配慮ができて中、食べられる子供への無理強いが見られる。残せば罪悪感につながり、偏食へと進むこともあるのではないか。盛り付けをあらかじめ、残すことも一つの方法ではないか。</p> <p>▲4 限後、準備に来るのが遅い子供がいる。授業を 12:20 にしっかり終了する。</p> <p>▲黙勤がなかなかできない。引き続き声をかけていくしかない。</p> <p>▲グループによって配膳が遅れるグループがある。</p> <p>☆高学年が遅い傾向があるので 4 限の終わりの時刻をなるべく厳守し身支度を手早くするよう声をかける。</p> <p>☆縦割り班の編成に気を付ける。</p> |
|       |     |       | ②人間関係や感謝の心   | 2      | 7  | 1 | 0 |  |
|       |     |       | ③一人一人へ配慮     | 5      | 4  | 1 | 0 |  |
| 健康安全③ | 29  | 体力づくり | ①体力の向上       | 2      | 8  | 0 | 0 | ○大休憩に適切な運動と運動量を確保してよい。   |

|   |  |  |                                 |   |   |   |   |   |
|---|--|--|---------------------------------|---|---|---|---|---|
|   |  |  | ②学級活動<br>や保健学習<br>に位置付け         | 0 | 8 | 2 | 0 | <p>○わんぱくタイム子供たちは、自己の能力に応じた運動に取り組んでいた。</p> <p>○わんぱくタイムや体育の時間を中心にたくさん体を動かそうとしている子供が多く見られた。</p> <p>▲チャレンジ 3015 カードを子供に配布することを担任が忘れていて、(4～5月) 出遅れた分、子供たちに一律である程度の点数を与えて6月の途中からスタートした。</p> <p>▲チャレンジ 3015 の到着が遅れたので、4月から印刷したもの(コピー)を使ってもよかった。</p> <p>▲チャレンジ 3015 のリーフレットが来るのが遅く(7月に近かった)しかも、冊子ではなかったので、例となる運動も例示も子供たちに示せず困った。わんぱくタイムなどで提示してもらえるとよかった。</p> <p>▲運動の苦手な子供への声掛けや目に見える目当てを準備してやれなかった。</p> |
|   |  |  | ③みんなで<br>チャレンジ<br>3015 運動機<br>会 | 3 | 6 | 1 | 0 |   |
| <p>健康安全部会その他</p> <p>・清掃活動では、各担当場所で子供の指導をしていただいたり褒めていただいたりして、子供たちが清掃にやりがいを感じながら働くことができた。</p> |  |  |                                 |   |   |   |   |   |



## 平成29度1学期を振り返って

健康安全部会

## よい成果・今後も進めたい点

- ・「健やかカード」を活用し、肥満傾向児への指導を続けていく。1学期は昨年度より対象児が減った。夏休み後も様子を見て指導していく。
- ・毎週火曜日の生活習慣チェックにより、実態把握と指導ができた。結果の掲示も効果的だった。
- ・清掃活動では、各担当場所で子供の指導や振り返りがされ、子供たちもやりがいをもってよく働いていた。トイレ掃除についても今年度はきちんと掃除ができている。これからも指導、見回り、見守りをしていく。
- ・わんぱくタイムは、進んで活動している子供が多かった。
- ・外部指導者による指導（水泳、いのちの授業、薬物乱用防止教室）は教育的効果が高いので、継続する。

## 課題・改善が必要

- ・決められた時間までに就寝していない子供への指導と家庭への啓発が必要
- ・異性や性的なものへの興味が高まっている。性指導の必要性も感じるが、市内の学校の流れとして、表だって実施していない学校が多い。また、保健学習との兼ね合いもあり、今後考えていかなくてはいけない。
- ・少食や好き嫌いのある子供に対しては、1学期は食べることができるように量を配慮してきたが、2学期は少しずつ通常の量に近付けられるよう指導していく。
- ・肥満傾向児への食事量の管理や多食の子供への配慮をする。
- ・ランチルームでのマナー、黙働等を引き続き指導していく必要がある。
- ・みんなでチャレンジ3015の形式が変わり、スタートが遅れてしまった。（4月からコピーで進めておく、到着するまでの分を一律塗らせてからスタートするなどの工夫が必要だった。）

## 改善に向けた具体的な方策

- 生活習慣チェックにノーマディアの項目を入れることを検討していく。
- 給食について、グループでどうしても食べきれないときは、食缶に残し、特定の子供がたくさん食べ過ぎないようにしていく。
- 配膳が遅れるグループがあるので、4時間目終了の時刻を守ること、着替え時の無駄話をしないよう指導する。
- みんなでチャレンジ3015について、塗り忘れがないように各クラスで声かけをする。また、達成者や進捗状況の掲示板を1階書庫前の廊下に設置し、全校児童の名前を掲示していく。（1年生のネームプレートを準備する）

## 平成29度2学期を振り返って

健康安全部会

## よい成果・今後も進めたい点

- ・「健やかカード」を活用し、肥満傾向児への指導を続けていく。例年冬休み明けに対象児が増加する傾向があるので、様子を見て気を付けて指導していく。
- ・毎週火曜日の生活習慣チェックにより、実態把握と指導ができた。時間がかかるという声もあるが引き続き行っていく。
- ・清掃活動では、どの清掃場所も比較的きちんと行っている。先生方の指導、見回り、見守りのおかげ。(死角になる場所があるので気を付けて見ていく)
- ・わんぱくタイムは、進んで活動している子供が多かった。冬期間になり縄跳び運動が軌道にのっていけば、子供たちの運動量も増えていくと思う。

## 課題・改善が必要

- ・決められた時間までに就寝していない子供への指導と家庭への啓発が必要である。
- ・異性や性的なものへの興味が高まっている。性指導の必要性も感じるが、本校の教育計画に載っている性指導の計画や内容は、古い。保健学習との兼ね合いもあり、今後できることから内容を考えていかななくてはいけない。
- ・ランチルームでのマナー、黙働等を引き続き指導していく必要がある。
- ・体育委員会が2学期計画していたランキングバトルを実施できなかった。3学期は、計画的に実施していく。

## 改善に向けた具体的な方策

- ・1学期の振り返りにも載せたが、生活習慣チェックにメディアの項目を入れることを検討していく。(就寝時間が遅くなる子供の要因にメディアのことが関係していると思われるため)
- ・配膳が遅れるグループがあるので、4時間目終了の時刻を守ること、着替え時の無駄話をしないよう指導する。(特に寒くなるとストーブの前でしゃべっている子供が多い)
- ・「みんなでチャレンジ3015」について、1月末で達成見込み数を提出するので、縄跳びの掲示に変えていく。
- ・3学期に実施予定の性に関する指導は、担任と話し合い、発達段階や学級の実態に合わせて、養護教諭とのTTを進めていく。

## 平成29年度を振り返って

健康安全部会

## よい成果・今後も進めたい点

- ・肥満傾向児への指導を続けていく。給食でも食べ過ぎないように、各グループの担当教員は配膳や声かけ等に気を付ける。ランチルームの座席表が完成した時点で、養護教諭が要注意児童に印を付け、気を付けて見ていく。
- ・給食では、各グループの担当教員がきちんと指導していただき、時間内に比較的静かに食事をする習慣や嫌いなものでも少しは食べる習慣が身に付きつつある。
- ・わんぱくタイムは、来年度も晴れのときはマラソン、雨のときは縦割りの大縄跳びで進めていく。冬期間も、今年度と同じ短縄と大縄を実施する。
- ・感染症防止のためにも、3学期の水曜日パン給食の日の手指のアルコール消毒を継続する。

## 課題・改善が必要

- ・生活習慣チェックにメディアの項目を入れることを検討していく。(就寝時刻が遅くなる子供の要因に動画を見ているなどメディアのことが関係していると思われるため)
- ・すこやかタイムの実施状況を知りたい。→現状の火曜日は清潔チェックの日と重なるため
- ・3学期に実施した性に関する指導は、インフルエンザの学級閉鎖等もあり、なかなか時間が取れなかった。2、4、6年生で今まで通り実施し、1、3、5年生は見直ししていくとよい。
- ・体育委員会主催のランキングバトルがなかなかできなかった。
- ・なわとびの掲示ができなかった。

## 改善に向けた具体的な方策

- ・メディアチェックを実施してみたい。(ゲーム機、タブレット、パソコン) 実施の仕方は、今後検討する。
  - ・生活習慣チェック(清潔チェック)を火曜日から水曜日に変更したいがどうか。
  - ・性に関する指導は、担任と相談しながら積極的に養護教諭とのTTを進めていく。低、中、高で1回ずつ(2、4、6年生で今年度通り)実施。5年生は、4年生とほぼ同じ内容を理科で学習するので必要ないと思う。
- ランキングバトルは、隔週で1学期から内容を厳選して実施していきたい。
- なわとびの級の掲示は、冬休み中に準備し、3学期がスタートしたら早々に取り組んでいきたい。

生徒指導部会（平成 29 年度 第 1 学期 内部評価）

A できた B 概ねできた C あまりできなかった D できなかった

| No.   | ページ | 項目   | 評価の観点        | 評価（人） |   |   |   | ※自由記述の部分は、意図を変えないよう少々文章を変えます。了承ください。（伊藤）<br>○…よい成果・今後も進めたい点 ▲…課題・改善が必要☆…改善に向けた具体的な方策  |
|-------|-----|------|--------------|-------|---|---|---|---|
|       |     |      |              | A     | B | C | D |   |
| 生徒指導① | 24  | 生徒指導 | ①児童理解と人間関係   | 1     | 8 | 1 | 0 | <p>○登校渋り傾向がある子供について、SCの竹田先生に面接してもらうことで、不安を取り除くことにつながったと思う。</p> <p>○問題があった場合、両者や第三者の意見や考えを聞き取り、問題の解決にあたったことで当事者の子供たちも納得のいく解決にたどり着いた。</p> <p>○一人一人のよさや頑張りをその都度褒めてやることに取り組み、子供の自尊心や前向きな姿勢の育成が見られた。</p> <p>○生活アンケートやふれあい週間を活用して児童間の人間関係や問題行動の予防につなげることができたと感じる。</p> <p>▲「報・連・相シート」をあまり活用する機会がなかった。</p> <p>▲問題行動の解決に時間を割きすぎて、関係のない子供の権利をないがしろにした。</p> <p>▲あいさつ運動の参加学年に偏りがある。</p>                           |
|       |     |      | ②自尊感情規範意識    | 2     | 6 | 2 | 0 |   |
|       |     |      | ③相談活動        | 2     | 8 | 0 | 0 |   |
| 生徒指導② | 26  | 交通安全 | ①意識の高揚繰り返し指導 | 3     | 7 | 0 | 0 | <p>○ランチルームでの生徒指導主事からの呼びかけは、子供たちの意識付けに効果がある。</p> <p>○各安全教室や自転車教室等が計画的に実施できた。</p> <p>○小さなトラブルやそれに準じた話が出たときに生徒指導主事から話があり、大きなトラブルへの進行が防げた。</p> <p>○何か市内であったことを給食の時間等を通して全校児童に知らせている点。</p> <p>○街頭指導やあいさつ運動を行うことで、児童の安全意識を高めることができたと思う。</p> <p>○大きな事故がなかった。生徒指導主事がランチルームで全体に話をするのが効果的であった。</p> <p>▲朝早く登校する児童がやっぱり多い。二宮尊徳像や将就の石に乗ったり座ったりしている姿はあまり美しくない。</p> <p>▲「約束」等の記述にあいまいな部分もあり、教職員の共通理解を深めておく必要がある。</p> |
|       |     |      | ②実態に応じた      | 1     | 9 | 0 | 0 |   |
| 生徒指導③ | 27  | 人権教育 | ①計画的実践       | 0     | 8 | 2 | 0 | <p>○ふれあい週間に、子供たち一人一人との面談が実施でき子供たちの友達関係について日頃の様子を見ているだけでは分からないことも聞くことができた。</p> <p>○振り返りの時間等に互いのよさを見付けて褒め合う時間を作るようにした。</p> <p>▲ソーシャルスキルトレーニングを実施しなかった。</p> <p>▲敬語を使ってどの先生とも話すように共通実践したい。（ため口は言い直し）</p>  |
|       |     |      | ②認め合う学習展開    | 2     | 6 | 2 | 0 |   |
|       |     |      | ③教育相談        | 2     | 7 | 1 | 0 |   |
| 生徒指導④ | 46  | 福祉教育 | ①触れ合いの場の設定   | 3     | 6 | 1 | 0 | <p>○ボランティアカードの取組のおかげで、子供たちがボランティア活動（あいさつ運動等）に進んで参加していた。</p> <p>○「命の教育」「お年寄りとの交流」「保育所訪問」等の活動を通して相手のことを思いやる心が膨らんだ。</p> <p>○愛校作業では、保護者や地域の方々と一緒に協力して清掃活動を行い、愛校心やボランティア精神を育てることができた。</p> <p>○リサイクル回収では、各学年たくさんの児童が参加することができた。</p> <p>○池田リハビリ・保育所との交流は今後も続けていくとよい。</p> <p>▲リサイクル回収に持ってくる人が固定されており、もっと呼びかけの強化をしなくてはならない。</p> <p>☆ボランティアの訪問活動は、とても有意義だったが、準備に時間がかかりすぎだったような気がするので、計画的に進められたらよい。</p>          |
|       |     |      | ②思いやる心       | 1     | 8 | 1 | 0 |   |



|  |    |        |             |   |    |   |   |  |
|--|----|--------|-------------|---|----|---|---|--|
| 生徒指導⑤  | 65 | 特別活動全体 | ①重点内容の理解    | 0 | 10 | 0 | 0 | ○各活動が計画的に実施されていた。  |
|  |    |        | ②主体的な活動事前指導 | 1 | 8  | 1 | 0 |  |
| 生徒指導⑥  | 68 | 児童会    | ①自主的・自発的な活動 | 4 | 6  | 0 | 0 | ○フレンド集会が計画的に実施されていた。<br>○ボランティア活動の推進を行ってきた結果、子供たちの意識が変化してきた。(あいさつボランティア等)<br>○フレンド集会では、児童が主体となって集会を企画・運営していた。発表学年や委員会もどのようにすればより相手に伝わるのかをよく考えて生き生きと発表を行っていた。<br>○自分の仕事をしっかりとやっている。 |
|  |    |        | ②計画的指導      | 2 | 8  | 0 | 0 |  |
| 生徒指導⑦  | 70 | クラブ活動  | ①興味・関心、創意工夫 | 5 | 5  | 0 | 0 | ○子供たちが自主的に話し合っ計画を立て、楽しく活動していた。<br>○異学年同士で仲良く主体的に活動することができている。  |
| 生徒指導⑧  | 71 | 学校行事   | ①事前・事後指導の充実 | 1 | 9  | 0 | 0 | ○振り返りを次の活動へ生かしていく。<br>▲振り返りの時間をしっかりと確保し、次の活動(避難訓練や防犯教室等)の土台となるようにしていきかけた。  |
|  |    |        | ②振り返りの活動    | 2 | 7  | 1 | 0 |  |
| 生徒指導部会その他<br>・ボランティアカードの賞状は、一人1枚でよいのではないか。2枚目以降は名前の紹介だけでもよいと思う。何枚ももらって大切にしていない子供もいる。 |    |        |             |   |    |   |   |  |

平成29年8月31日

平成29年度 1 学期の振り返りと 2 学期に向けての方策

## 生徒指導部会

※○よい成果・今後も進めたい点 ▲課題・改善が必要 ☆改善に向けた具体的な方策

### 1 相談活動、児童理解、人権教育

- SCの竹田先生との面談が、登校渋り傾向がある子供の不安を取り除くことにつながった。
- 問題があった際、両者や第三者の意見や考えを聞き取り、問題解決にあたったことで、当事者の子供たちの納得のいく解決にたどりつくことができた。
- 一人一人のよさや頑張りをその都度褒めてやることに取り組み、子供の自尊心や前向きな姿勢の育成が見られた。
- 生活アンケートやふれあい週間を活用して、児童間の人間関係や問題行動の予防につなげることができた。
- ▲問題行動の解決に時間がかかり、他の子供の学習指導等の時間を確保することが難しいことがあった。
- ☆複数の子供からの聞き取りや指導には、チームを組んで複数の教員が行うようにしていく。
- ☆小委員会を開く際は、時間を設定して行う。
- ▲ソーシャルスキルトレーニングを実施することが難しかった。
- ☆火曜日の朝活動の短時間では実施するのが難しいこともあるので、学活や道徳等の始めに組み入れるなど、学級の実態に合わせて、月に1回程度行うように工夫する。
- ▲教職員への言葉遣いがよくない。
- ☆「ぼかぼか言葉」について学級で話し合ったことを校内に掲示し、気持ちのよい言葉や言葉遣いについての意識を高める。
- ☆子供と接する際は、正しい言葉遣いで話すようにする。言葉遣いが適切でないときは、正しい言葉遣いを教えるようにしていく。

### 2 安全指導

- 各安全教室や自転車教室等が計画的に実施された。
- トラブル等があった際に、ランチルームで話があり、子供の意識付けに役立っていた。
- 大きな事故がなかった。
- ▲朝早く登校する児童が多い。二宮尊徳像や将就の石に乗ったり座ったりしていた。
- ☆「さわやかあいさつ運動」の開始時刻を5分遅くして7:35に変更したい。また、ボランティア活動なので、35分までに「絶対来る」のではなく、「できるだけ来る」ようにしたい。校舎側に一列に並ぶように指導する。
- ▲「約束」(p.83)等の記述にあいまいな部分があり、教職員の共通理解が必要。
- ☆3~10月の帰宅時刻が「5時30分まで」と書いてあるが、「自転車乗車は5時まで」が明記されていない。来年度から、「どちらも5時まで」としたい。11月から2月の帰宅時刻も来年度から少し早めにした。
- (☆一輪車やそりの使用等については、体育主任から提案する。)

### 3 福祉教育

- 「命の教育」「お年寄りとの交流」「保育所訪問」等の活動を通して、相手のことを思いやる心が育まれた。
- ボランティアカードの取組のおかげで、子供たちがボランティア活動(あいさつ運動)に進んで参加していた。
- リサイクル回収では、たくさんの児童が参加することができた。

▲あいさつ運動の参加学年に偏りがあった。

▲リサイクル回収に持ってくる子供が固定されていた。

▲ボランティアカードの賞状は、一人1枚でよいのではないか。

☆訪問活動は、有意義だったが準備に時間がかかりすぎたので、もっと計画的に進めるようにする。

☆8月29日に、福祉についての発表がある。ボランティアカードの賞状の取り扱いを検討していきたい。(サイズが2分の1になるかもしれない。)

☆ボランティア活動については、学年の実態に合わせて、担任から声かけをしていく。あいさつ運動やリサイクル運動、ゴミ拾い等、取り組みやすい活動から行い、意識を高めていくようにしてほしい。

#### 4 特別活動

○フレンド集会が計画的に実施されていた。児童が主体となって集会を企画・運営し、発表学年や委員会も聞いている人に伝わるようによく考えて生き生きと発表していた。

○クラブ活動では、子供たちが自主的に話し合っって計画を立て、楽しく活動していた。異学年同士で仲良く主体的に活動することができた。

☆避難訓練等の学校行事の振り返りの時間をしっかり確保し、次の活動に生かしていく。

#### 5 アクションプラン「好ましい人間関係を築く子供の育成」

○地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼びかける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識が高まった。特に、ボランティアカードの取組によって、自主的に挨拶運動に参加する子供が増え、明るく元気に挨拶をしてくれている。その子供たちのおかげで、笑顔で挨拶を返してくれる子供がたくさん見られた。

▲「ぼかぼか言葉」については、学級で話し合いをもっただけで具体的な活動が見られなかった。

☆「ぼかぼか言葉」について各学級で話し合ったことを校内に掲示し、正しい言葉遣いについての意識を高める。

☆6月下旬に実施された児童自己評価カードの結果を見て、方策の見直しをしていく。

#### 6 保護者アンケート自由記述

▲挨拶運動…学年に応じてレベルアップした活動を希望。

▲心の面を育む活動が伝わってこない。

▲人間関係…双方の意見を聞いてほしい。

▲嫌われている子の話を聞く。…いじめにつながらないクラスづくりをしてほしい。

▲ぼかぼか言葉+αのコミュニケーションについての指導がほしい。

▲人を傷つけない言動の指導をしてほしい。

☆「ぼかぼか言葉」について、各学級で話し合ったことを校内に掲示する。

☆ソーシャルスキルトレーニングを、月に1回以上取り組む。

☆人権を尊重し合う人間関係の育むために、道徳の時間や集団生活上の問題解決をする話し合い活動等の充実を図る。

☆上記の実践の様子を学年便りや学校のホームページに載せ、保護者に積極的に伝えていくようにする。

平成30年1月9日

平成29年度2学期の振り返りと3学期に向けての方策

## 生徒指導部会

※○よい成果・今後も進めたい点 ▲課題・改善が必要 ☆改善に向けた具体的な方策

### 1 相談活動、児童理解、人権教育

- 生活アンケートやふれあい週間を計画的に実施することができた。ふれあい週間に、わんぱくタイムを止め、面談を行うことができたのでよかった。
- 9月にQU調査の研修をもつことができた。
- 複数の子供からの聞き取りや指導では、チームを組んで行うことができた。
- ▲保護者からの訴えで、いじめが発見された。
- ☆複数の教員で見守る。楽しく関われる活動を増やし、よりよい関わり方を指導していく。
- ▲ソーシャルスキルトレーニングを実施することが難しい学年もあった。
- ☆火曜日の朝活動で実施するのが難しい。学活や道德等の始めに組み入れるなど、学級の実態に合わせ、見通しをもって行うように、さらに工夫していく。

### 2 安全指導

- 朝、二宮尊徳像や将就の石に乗ったり座ったりする子供がいなくなった。比較的、校舎側に一列に並ぶようになっている。
- ▲外出や帰宅時刻を守れない子供が見られた。
- ☆外出のきまりについての指導を、学級の実態に合わせて繰り返し行う。  
11月～2月 下校時刻4:10、帰宅時刻4:45まで
- ▲学期末に怪我が多かった。
- ☆「安全第一」に生活指導を行う。廊下歩行の呼びかけをしていく。
- ☆冬期の遊び場所や遊び方について、教職員で共通理解して指導にあたる。(12月に清水先生より確認事項あり)
- ☆冬場の遊びについて代表委員会で話し合い、子供の安全への意識を高める。

### 3 福祉教育

- いろいろな学年の子供がボランティアカードの達成者の放送で紹介されるようになった。
- ボランティアカードのためではなく、進んでボランティア活動に参加する子供が見られるようになった。
- 5、6年生が、朝早くから進んで雪かきをしてくれた。
- ▲あいさつ運動の参加学年に偏りがあった。
- ☆今後も、ボランティア活動を進んで取り組む子供を褒めていく。各学級で活動内容を紹介し、継続できるようにしていく。

### 4 特別活動

- フレンド集会在計画的に実施されていた。発表内容が工夫されていた。子供たちも生き生きと発表していた。
- スマイル集会(人権集会)では、縦割りで楽しく活動することができた。計画委員会の発表も分かりやすく楽しかった。
- ▲スマイル集会で、6年生のゲームコーナーを少ししか回れなかったのがもったいない。
- ☆来年度は、もう少し多くのコーナーを回れるように、場所等の工夫をする。

### 5 アクションプラン「好ましい人間関係を築く子供の育成」

- 「あいさつをしている」について、児童の自己評価では、2学期、「達成した」(3日～



5日できた児童)が100%だった。

▲保護者の評価では79.7%。子供との意識の差が大きい。保護者には、挨拶をしていないのかもしれない？

☆懇談会や学年便り等で家庭での挨拶を啓発していく。

▲児童玄関前でのあいさつの声が小さい子供が多い。

☆計画委員会で、あいさつ名人の紹介を行う。(曜日を決めて、一人ずつ)

○「ぼかぼか言葉」について学級で話し合ったことを校内に掲示した。

▲さらに気持ちのよい言葉や言葉遣いについての意識を高める工夫が必要。

☆帰りの会等で、よい言葉遣いをしている子供を具体的に褒めるなど、学級でも機会を捉えて指導する。

平成30年3月20日

平成29年度3学期の振り返りと30年度に向けての方策

## 生徒指導部会

※○よい成果・今後も進めたい点 ▲課題・改善が必要 ☆改善に向けた具体的な方策

### 1 相談活動、児童理解、人権教育

△2月のふれあい週間は、学習参観やなわとび記録会、フレンド集会等と重なり、落ち着いて面接を実施することが難しかった。(翌週も振替休日があり、4日間と短かった。)

☆3学期のふれあい週間は、必要な児童に限るか、2週間にして、わんぱくタイムを止めて、面談を行うなどの改善が必要。

○いじめ問題での対応については、小委員会で具体的な対応策が話し合わせ、関係する教員がチームを組んで子供からの聞き取りや指導に当たり、解決につながった。

○ランチルームでの児童の様子や保健室からの情報で、いじめの芽を摘むことができたので、気になる様子は、積極的に情報交換をしていくようにする。

### 2 安全指導

○怪我が少なかった。

○全校で鶴を折って廊下に置いたため、廊下歩行の意識が自然に高まった。また、鶴を粗末に扱う児童が見られず、マナーも守られていた。続けられそうなら続けてもよいと思われる。

☆1年で鶴が乗っているブロックを算数科で使用する(2学期)ため、工夫が必要。

### 3 福祉教育

○5・6年生が、朝早くから進んで雪かきをしてくれた。

▲3学期は、ボランティアカードの取組が低調だった。(2学期から賞状の手渡しがなくなり、賞状も小さくなったが、さらに計画委員会の5年生が担当するようになってから賞状が滞っていた。また、担任も行事等が多く、ボランティア活動まで、意識が届かなかった。)

☆来年度の取組をどうするか、児童の実態も見ながら持続可能な活動を考える。年度途中で、効果的だったので、できれば続けるとよいと思われる。

○6年生が、年間を通じて、あいさつ運動に参加していた。

▲3学期は、寒い、除雪、インフルエンザの流行、児童玄関が早くから開いているなど、あいさつ運動が取り組みにくかった。(寒い時期は、児童玄関内でした方がよい。)

▲年間を通じて、あいさつを返す児童の声が小さい。(タッチはするが)

☆各学級で、あいさつに対する指導(訓練?)を続けていくことが必要。

▲友達を呼び捨てにしたり、先生に丁寧な言葉で話さなかったりする児童が見られた。

☆言葉遣いについて、代表委員会で話し合うなど、具体的な手立てが必要。また、その都度、繰り返し注意していく。

### 4 特別活動

○計画通り、フレンド集会が1月で終わった。委員会としては2月も実施したい気持ちがあるが、送る会があるので、来年度も1月で終わるとよい。

○フレンド集会の年間の内容も、必要な委員会の発表もあり、よかった。

### 5 その他

☆会議室に掲示してある校区図を就学時検診までに新しくする必要がある。(業者に依頼?)

☆市連合体育大会が遅くなるため、1年生の付き添い登校の期間を連休前まで延長するとよい。

### Ⅲ 外部評価

#### 1 学校評議員会記録

平成29年6月28日(水)

##### 平成29年度学校評議員

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 荻野卓也様(PTA会長)  | 稲垣孝壽様(荻生自治振興会長) |
| 浦田照行様(荻生公民館長) | 吉松博子様(荻生保育所長)   |
| 稲垣里佳様(主任児童委員) |                 |

##### 《協議・懇談から》

##### ◇温かい人間関係づくりについて

- ・相手を攻撃するような乱暴な言葉遣いを耳にすることがある。学校でも、「ぼかぼか言葉」をぜひ勧めてほしい。家でも注意するが子供の心になかなか響いていかない。
- ・家庭でどのように躰をすればよいのかが分からず、悩んでいる親も多いのではない。子供の躰として、家庭では「挨拶、履き物を揃える、椅子を戻す」の3つを躰けるとよいと聞いたことがある。簡単なことだが、しっかりできるようになるのは難しい。
- ・鉛筆、箸の持ち方については、正しい持ち方を大人が示し、教えて、繰り返し声を掛けていかなければ身に付かない。保育所、学校、家庭が連携し、継続的に取り組んでいきたい。
- ・保育所では、年少児であっても、「ダメなことはダメ」と教えている。その際、分からないかもしれないが、ダメな理由もきちんと伝える。同時に、「～したかったんだね」と子供の気持ちをしっかりと受けとめることも大切に行っている。そのような子供の受け止め方などの子供との望ましい関わり方を保護者に伝えていくことも保育所や学校の役割である。
- ・さわやかあいさつ運動に参加し、子供たちが元気よくあいさつしている姿を微笑ましく感じた。さわやかあいさつ運動の期間以外も、毎朝、計画委員会の5・6年生とともに「あいさつボランティア」の子供たちが呼び掛けていると聞き、とてもよい取組だと思う。

##### ◇望ましい生活習慣づくりについて

- ・姿勢の悪い子供がいるのではないかと気になっている。椅子の背もたれにもたれず、背筋をピンと伸ばすことで背筋も鍛えられる。
- ・寝る時刻が遅い子供が大変多い。とやまゲンキッズ作戦でも、「朝からあくびが出る」と答える子供が多く、学習に集中できないのではないかと心配している。
- ・ゲームやパソコン等、インターネットを使う時間やスポーツ少年団や習い事の時間等について、大人が気を付けることで、子供が望ましい生活習慣を身に付けられるようにしていきたい。
- ・大休憩が30分間あり、火・金曜日はわんぱくタイム(グラウンド走、長縄跳び)、その他の日は、自由遊びをしていると聞き、子供たちがたっぷり体を動かして思い切り遊べる時間が保障されていてとてもよいと思う。

◎ いただいた貴重なご意見を生かし、荻生の子供たちがより一層健やかに成長するよう、学校運営の改善に努めていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

## (2) 第2回学校評議員会まとめ

平成30年3月2日(金)

### 【睡眠とゲームについて】

- 今年度、学校保健会で睡眠をテーマに講演会をされたそうだが、睡眠時間については、大切なことなので子供だけでなく、保護者ともども、今後とも継続して啓発してほしい。
- たまに夜遅くスーパーマーケットへ行くと、低学年の子供を連れて買い物をしているお母さんを見かけることがある。大人が夜遅くまでゲームをしたり、テレビを見たりしているので、子供も一緒に夜遅くまで起きているという話を聞く。大人の生活時間に子供を付き合わせている面があるのではないか。
- 親も夜〇時以降はスマホを触らないなど家庭で約束を作ったらよい。
- 「ノーゲームデー」「ノーメディアデー」等、ゲームをしない日や、テレビを見ない日を設けてもよいのではないか。中学校とも連携し、定期考査の期間に合わせてそういう日を設けてもよいのではないか。
- これからの子供たちは、パソコンやスマホ等のメディアと上手に付き合っていかなければならない。情報モラルやメディアリテラシーの力を高めることが必要である。
- 保育所でも、2歳児段階からスマホに触れている子供もおり、情報機器との望ましい関わらせ方について小学校入学前から保護者の意識を高めていくことが必要である。

### 【子供のしつけについて】

- 今年度のアクションプランの評価は、子供と大人で大きな差が見られた。今後の指標のあり方について検討しなければならない。
- 子供にとっては、自分のことを正しく評価することは難しい。子供は、自分の言動を振り返り一番よかった自分を思い出して評価しがちである。しかし、親の場合、我が子に「もっとよくなってほしい」「もっとできるはずだ」という期待感から評価が厳しくなることは予想できる。また、我が子にあまりよい評価を付けない謙虚さ、奥ゆかしさも影響しているのではないか。
- ここ30年くらいは、ほめて育てる教育がはやりであるが、ほめるだけでは、子供のためにならない。大人になるまで叱られる経験がなく、学生になってアルバイトで初めて叱られ、引きこもりになる若者もいると聞く。
- ただ厳しく叱りつけるのがよいというのではない。子供の心に響く叱り方が大切である。
- 子供を認めるということが大切である。それは、子供のしていることを見ていないとほめることができない。子供は認められ自分に自信を付けることによって理不尽なことや苦難を乗り越える力を付けていく。

### 【地域の教育力について】

- 学校だよりの保護者アンケートのまとめに、学校の周りに街灯が少なく心配という意見があった。地区の安全に関する要望等があれば、各町内会長を通して自治振興会に伝えてほしい。他地区よりの転入者が多い町内もあり、地区や近所付き合いが少ない家庭もあると思うが、どんなことでも各町内会長に気軽に相談してほしい。
- 大人も子供も人と関わる力が弱くなってきている。学級懇談会や各種の会合等で大人が集まる機会を捉え、親同士が仲良くなっていく手立てをとる必要がある。

### 【児童の安全について】

- 今年の冬は雪が多く、児童の登下校は大変だったと思う。学校では、通学経路の危険な道路や危ない場所等をどのように把握しているのか。
- 通学経路に関しては、交通量や歩道の状況等から、通らないこととしている道路をお知らせしている。除雪の様子や用水の近くで危険など、保護者の方が分かるため保護者に決めていただくこととしている。今年度は、PTAの教養講座の後、初めて児童引き渡し訓練を行った。その訓練が、暴風雪で何度か集団下校をした際に役に立った。今後も同様の訓練を行っていきたい。



## 2 保護者アンケート結果と児童自己評価との比較

### ◆児童自己評価

「振り返り週間」(1学期…6/27～7/1、2学期…11/28～12/2)中、「〇」を付けた日が4日以上だった児童の割合を「達成した」としてグラフに表しました。

|         |       |             |          |
|---------|-------|-------------|----------|
| 5日・4日   | 3日    | 2日・1日       | 0日       |
| A:よくできた | B:できた | C:あまりできなかった | D:できなかった |

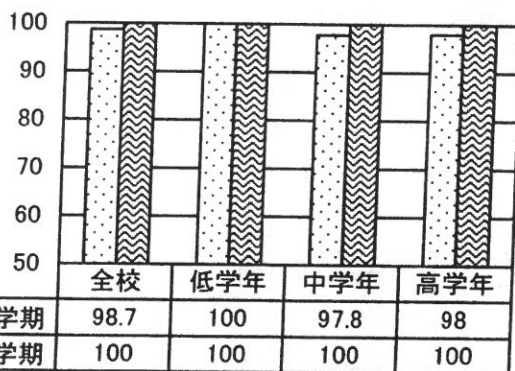
### ◆保護者評価

4段階(A:よくできている、B:できている、C:あまりできていない、D:できていない)評価のうち、AとBを合わせた割合を「達成した」としてグラフに表しました。

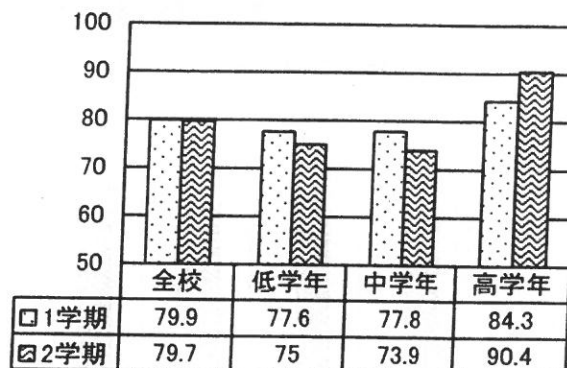
## アクションプラン1【徳】やさしく

### あいさつをしたり、ほかほか言葉(やさしい言葉)を使ったりしている

#### 児童自己評価



#### 保護者評価



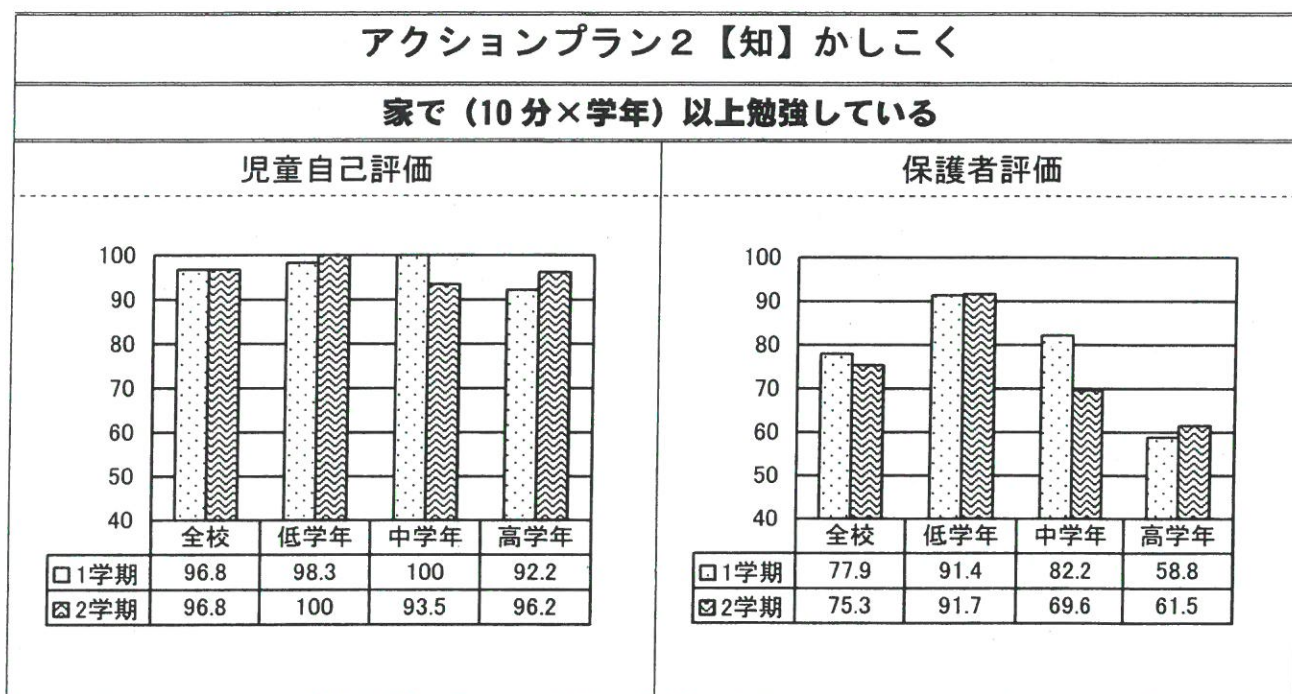
### 考察・方策

- 今年度も児童会では「あいさつは ニコニコと 大きな声で自分から」を目当てとして挨拶運動に取り組んでできました。

毎朝、計画委員会の児童が交代で幟旗を持って挨拶を呼びかけたり、挨拶ボランティアの児童が、ビッグハンドで挨拶を交わしたりしながら登校してくる児童を迎えたりする活動を行いました。一日をさわやかな挨拶で始められるようにすることを通して、挨拶の日常化に努めています。また、2学期も地域の皆様にご協力いただき「さわやかあいさつ運動」を実施しました。どの学年もこの活動を楽しみにしており、朝から張り切って挨拶を呼びかける児童の姿が見られました。今後とも朝の挨拶だけではなく、来校者への挨拶等、場に応じた適切な挨拶ができるよう取り組んで参ります。

- 2学期の振り返り週間では、「あいさつをしたり、ほかほか言葉を使ったりしている。」は、全校児童が「よくできた」と答えています。これは、この期間、子供たちが意識して挨拶をしていた結果であると思われます。ただし、本年度より目当て

に加えた「ぼかぼか言葉」の評価は、あまり加味されていないように思われます。一方、保護者の評価を見ると、「よくできている」の割合が、全校で約80%と、児童の評価と比べ約20%低くなっています。この違いは、評価する場面が児童は「学校」、保護者は「家庭」であることとともに、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常的な姿全般を評価していることによるものではないかと考えます。また、評価の中心になっているのが、児童は「挨拶（特に朝の挨拶）」であるのに対し、保護者は、「ぼかぼか言葉」を含めた「言葉遣い」であることにも違いがあるように思われます。保護者から寄せられた意見の中には、「ぼかぼか言葉が定着するよう繰り返し伝えてほしい」というような要望や「家庭では言葉遣いがよくない」という課題もありました。好ましい人間関係を築くためにも、相手を思いやる言葉や言葉遣いはとても大切なものです。今後も、挨拶はもちろんのこと、正しい言葉遣いや相手を思いやる言葉を使うことができるよう、いろいろな場を通して指導していきたいと思えます。



**考察・方策**

- 2学期の振り返り週間では、1学期と同様、約97%の児童が「学年の目標時間以上、家庭学習をした」と答えました。学年間で若干の違いはありますが、概ね目標は達成されているものと思われます。その要因としては、このアンケートを行ったのが、2学期の学習のまとめの時期だったということもありますが、自学ノートを使った家庭学習が定着していることが考えられます。これまでは、目標時間が長くなる高学年で達成されにくい傾向にありましたが、今回のアンケートでは6年生が100%達成するなど、目当てを意識して学習しようとする児童の姿が伺えます。
- 一方、保護者の評価を見ると「よくできている」の結果が、全校で約75%と児童の評価より20%以上低くなっています。これもアクションプラン1と同様に、児

児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常の児童の姿で評価しているという違いがあると思われます。特に顕著なのが高学年で、児童と保護者の評価の差が約35%あります。高学年になると、スポ少や習い事等もあり、自由に使える時間が少なくなります。その限られた時間の中で1時間程度の家庭学習を毎日継続することは難しいのが現状です。いずれにしても児童と保護者の評価が大きく違っていることは問題であり、今後アンケートの仕方や内容を見直していく必要があると考えています。

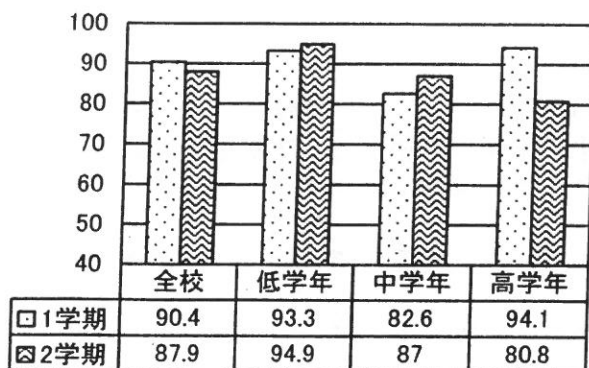
**考察・方策**

- ・2学期の振り返り週間では、全校で約90%の児童が、「よくできた」と答えています。アンケートをした時期が、11月末の寒い時期だったこともあり、高学年は1学期より10%程度下がっていますが、低・中学年では若干ですが、1学期を上回っています。これは、冬場の運動である縄跳び運動をする児童が増えてきたためだと考えられます。冬場は毎日コンスタントに運動することが難しくなります。保

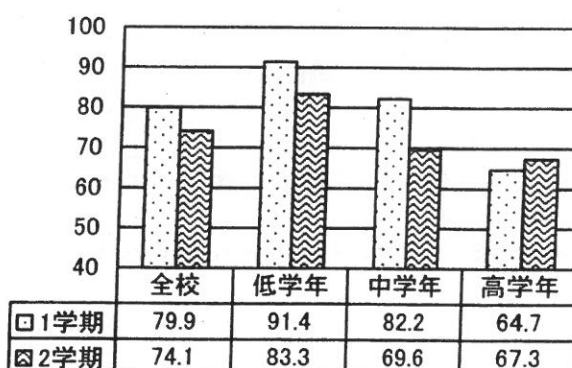
**アクションプラン3【体】たくましく**

**進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている**

児童自己評価



保護者評価



護者の声にも「体育館での活動を増やしてほしい」という要望や「みんなでチャレンジ3015に加えて、もう一工夫運動の場を設けてはどうか」などの意見もありました。皆様からいただいたご意見を参考にしながら、引き続き、冬場の運動機会の確保と充実に取り組んで参ります。



### 3 保護者アンケート 自由記述まとめ

【○…よい面・成果、▲…課題、★…対策、希望】

#### 1 やさしく（温かい人間関係づくり）

##### 【4 A運動（挨拶、集まり、後始末、安全）】

○4 A運動のあいさつ運動はすばらしいと思います。今後も続けてもらいたいです。[低]

○挨拶や言葉遣いはよくできていると思います。[中]

○温かい人間関係づくりがとても大切な事だと思います。みんな元気よく挨拶がちゃんとできていて気持ちがよいです。ぽかぽか言葉についても聞いたりするとホッとします。[中]

○接遇という点では、どの子もきちんとした言葉遣い、態度等、とてもきちんとできていると思います。[高]

○挨拶はできています。下学年や目上の方に対しても優しい言葉遣いをしていると思います。[高]

★学校、学童のまわりに街灯が少なく子供や車が見えにくいです。事故が起きてからでは遅いので、もう少し増やされてもよろしいかと思います。周りに田んぼもあり難しいと思いますがご検討ください。[低]

★用水路で遊びながら下校する姿を時々見かけます。用水路は子供たちにとっては、とても魅力的な場所です。魅力的なものには、大きな危険がはらむもの、軽い気持ちで覗いたりすると、大きな事故につながることを子供たち全員に知ってほしいです。[低]

★国道8号線から高速道路（黒部 IC）宇奈月へ続く道について、これから積雪時になると歩道の除雪が追いつかず、やむを得ず車道を歩かなければならない時があります。毎年、下校時、子供が車と並んで歩いている姿を見かけることがありドキドキしています。トラックの量も非常に多いので、なるべく通らずにすむ道順を指導していただければと思います。とはいえ、違う道もそういうときは狭かったり、除雪されていなかったりするのかもしれませんが。[中]

▲挨拶、言葉遣い、後始末、いろいろな教育活動は、子供のためにとってもよい活動ですが、家庭では自分から進んで何もしないので困ります。[高]

##### 【縦割り活動（給食、長縄跳び、スマイル集会）】

○縦割り班活動により、学年を超えた交流やつながりが形成されていて、比較的「小さな学校」として、その利点、よいところが引き出されていると思います。上級生は、下級生をかわいがり面倒を見て、下級生は上級生を慕いお手本にするということが自然にできていてとてもいいことだと思います。[低]

○縦割り班活動のおかげで、他の学年の子供の顔を知っていたりするのでいいことだと思います。[低]

○縦割り班活動で、いろいろな学年の子供と給食を食べることが、本人は楽しそうでよいと思います。[低]

○縦割り班活動は、他の学年の子と仲良くできるし、上の学年の子が下の学年の子に声かけや、優しく接してくれるのでよいと思います。[低]

○給食の席が、他の学年の子と触れ合えるのでよいと思います。その時しゃべったことを楽しそうに話してくれました。[低]

○縦割り活動は、いろんな学年の人と交流がもててとてもいいと思います。[中]

○いろいろな学年と触れ合う時間もよいと思っています。[中]

○給食は、他の学年の子と同じテーブルで食べていると聞きました。普段は話さない学年の子とも仲良くなれるきっかけになりよいと思います。[中]

○異学年交流があることはいいことだと思います。下の学年に優しくしていける心をもてたらよいと思います。[中]

○別の学年の子供とも仲良くしているみたいでいいと思います。[中]

○学年が違う子の親や名前もよく知っていて、とてもいいことだと思います。[高]

○上学年と下学年と一緒に活動する機会がたくさんあってよいと思いました。[高]

○縦割り給食で他の学年の子と話すのが楽しいようです。体を動かすより本を読んだりするのが好きです。[高]

○全学年、みんな仲良しですてきだと思います。[高]



○他の学年との交流する機会が多くてとてもよいと思います。[高]

★休憩時間など他学年の児童とも交流があると聞いています。上級生・下級生とたくさん触れ合っ  
てほしいです。[低]

★みんなで仲良く学校へ行ってもらいたいです。(登校) [中]

#### 【ふれあい週間(生活アンケート、個人面談)、教育相談(スクールカウンセラー)】

★苦手な同級生がいて、家ではどうすればよいか悩んでいた時、先生からのアンケートがあった  
ようです。そのアンケートに正直に書くことができたようで、以前よりは悩みが解決されたよう  
です。特にトラブルや問題のあったクラスでは、こまめにアンケートや面談があれば、問題の早  
期発見や解決になると思いますのでよろしくお願いします。[低]

○スクールカウンセラーがいることは、いいことだと思います。私が子供の頃は悩みを相談でき  
る大人が学校にはいなかったのが、子供たちが気軽に相談できる大人が、学校にいることはすば  
らしいことだと思います。[高]

#### 【ぼかぼか言葉(各学年のぼかぼか言葉掲示)】

★ぼかぼか言葉が定着するように繰り返し伝えてほしいです。(特に我が子に関しては) [中]

★ぼかぼか言葉は、日頃から自然に出るようになってくれればと思います。[高]

★「ぼかぼか言葉」はよいのですが、物足らないのでプラスアルファの意識付け、習慣付けを  
望んでいます。[高]

★ぼかぼか言葉に積極的に力を注いでもらいたいです。上学年に対して低学年の言葉遣いがあま  
りよいとは思いません。どうして言葉は大切なのか、もっと具体的に補足を入れながら指導して  
ほしいです。学校だけではなく、家庭でも取り組む必要があります。[中]

▲友達に対しては、あまり感じませんが、親や兄弟に対してきつい言葉遣いをします。その都度、  
相手がどんな気持ちになるかを知らせていますが、なかなか直らないです。[低]

▲反抗期のせい、学校では言えているかもしれない「ぼかぼか言葉」が、家では「ちくちく言  
葉」になることが多いように思います。[中]

#### 【家族との会話】

○いつもお世話になっております。毎日学校へ行くのが楽しみな様子と、家でも学校での楽しか  
った出来事や初めて知ったり学んだりしたことを生き生きと語ってくれている姿を見ることばか  
り、先生方やお友達の方々にもとてもよくしていただいていること、日々実感しております。  
主人とともに感謝しております。[中]

○同学年だけでなく、他学年との出来事の会話をしてくれます。主に給食時の話ですが、楽しい  
時間を過ごしているなあと感じています。[中]

○学校が楽しいようで、以前より折に触れ学校であったことを話してくれるようになりました。  
[高]

#### 【その他】

○学校の方針、学年の取組について気になることはありません。[中]

○学校生活を楽しんでいるようで嬉しく思います。[中]

★学年が上がるにつれ、人間関係も難しくなっていると感じます。子の思いと親としての思  
いが同じではないので、子供の思いを尊重しつつ、どうすべきか伝えていきたいと思  
います。学校側としては、適切な対応、言葉がけをしてくださり、いつもありがたく思  
っています。[高]

▲「お友達のすごいところ自慢」は、幼い頃から上手なのですが、自己肯定感というのでし  
ょうか「自分自慢」がやや苦手なようで、校長先生のお話にもありましたように「自分  
がよくて、みんなもよい」を目指し、もっと自分自身を大切にできる子になってくれ  
るよう、家でも関わって参りたいと思っております。ご指導のほど、親子ともども  
よろしくお願いいたします。[中]

▲子供たちから見て、注意と怒られたの違いが理解されているか気になります。[中]

#### 2 かしこく(分かる授業づくり)

##### 【基礎基本の定着(漢字・計算大会、チャレンジテスト)】

○先生のご指導のおかげで字がすごくきれいになりました。一つ一つ丁寧に採点していただき

りがとうございます。[低]

★授業内容を理解していても日がたつと忘れてたりするので、そういう復習も必要かと思います。

[中]

★先生の仕事がまた増えてしまうかもしれませんが、朝の10分くらいでいいので漢字や計算の小テストをしていただけたら嬉しいです。間違えたところが分かればそこを集中して勉強できるかと思っています。(自分の子供の時、小テストしていたことを思い出し書かせていただきました) [中]

★漢字・計算チャレンジテストは、とてもよいと思います。もう少し回数があればよいと思います。[高]

#### 【学習規律やルールの指導（「学習のきまり」の配布、話し方や聞き方の約束）】

★話し方や聞き方をもっと勉強して理解できるようになってほしいです。話す・聞く、どちらも苦手なので心配ですが、何事も集中して行ってほしいです。自学も自分から進んで取り組むようになり安心しています。[低]

★決まりごとについては、なぜ、どうして、守らないといけないのか、守らなかつたらどうなるなど、具体的に分かるように身近なことを例にあげるなど、簡潔に分かりやすく語ってほしいです。[中]

▲体力面でも学習面でもいろいろなことにおいて、本当はもっとできるのに、自分で「どうせこれくらいしかできん」とセーブしてしまうところが見られます。「もっとできる力があるよ」と励ましてみたり、頑張ったことに対してほめてみたりしますが、なかなか自信につながりません。

[高]

▲社会が多様化しているように親の考え方も多様になっており、学校との関わり方が難しくなってきたと感じます。(下学年を見ていると特に)一つ一つの声を拾い対応していくことも大切ですが、大人もルールを守ることを考えていかなければならないと思います。先生方、ありがとうございます。[高]

#### 【家庭学習の推進（自学ノートの展示、自学ノート7冊達成者の表彰）】

○自学ノートがあるおかげで、家での学習も進んでするようになり助かっています。[低]

○自学ノートは、7冊達成を目指して頑張ってくれるので宿題以外の勉強をしてくれなくても、何とか日々勉強をしてきている気がします。[低]

○自学ノートは、毎日大変ですが自分の興味のあることや苦手な勉強を頑張ることができてよいと思います。[低]

○子供が、表彰してほしいので自学を7冊目標に頑張っています。これからも達成者の表彰は続けてほしいです。[低]

○家庭学習がんばり週間は、意欲的に勉強できるよい機会となっています。[低]

○どうしてもワンパターンになってしまうので、自学ノートの展示はとても参考になります。[低]

○自学ノートは7冊目指して頑張っています。7冊達成が励みになっているようです。[中]

○自学を毎日することで学習能力が上がると思うのでよいと思います。[中]

○自学ノートの中身は、ワンパターンであまり濃いとはいえませんが、7冊達成という目標もてるので、表彰はとてもよいなあと感謝しています。[中]

○毎日勉強する習慣が付いてよいことです。[高]

○自学ノートの取組を6年間続けてきているので定着していてよいと思います。[高]

○漢字や計算の基礎を繰り返し行っているのでよいと思います。[高]

○自学ノート7冊達成者の表彰で意欲的に取り組むようになったのでよかったです。[高]

★自学ノートの使い方が少し雑になってきています。時間を見つけて問題を書いてあげるなど、しなければならぬと思っています。[低]

★家庭学習は、自学ノート自体はあまり進みませんが、家庭で用意したドリル等にこつこつ取り組んでいます。自学ノートだけの評価ではなく、難しいとは思いますが、家庭学習全体を認めて(ほめて)もらえる機会があるとよいです。[低]

★自学ノートの展示は、親がなかなか見ることができないので学校HPに掲載していただくと参考になります。(個人情報のため、名前・学年は消してもかまいません) [中]

★学習面では、自分で計画を立てて行っていますが、やり方や内容についてももう少し工夫をしてほしいです。[高]

★学年が進むにつれ、要領よく自学ノートを終わらせる方法を考えるようになったと思うので、少し宿題を増やしてほしいと思います。[高]

▲学校も勉強も楽しいようですが、宿題は嫌そう（苦手）です。基礎学習の大切さを理解させ、家庭学習の習慣付けをすることの大変さを感じます。[低]

▲自学は、ワンパターンになりがちです。また、早く終わらせたいがためにじっくり勉強していない状況です。[中]

▲自学ノートも毎日やっていますが、習い事もあるので、7冊達成が難しいかもしれません。[中]

▲自分が子供の時のほうが、漢字・計算の繰り返しの宿題は多くて、結果的にはよかったと思っています。[高]

▲学年が上がるにつれ、基礎学習や家庭学習を軽視しがちに思います。親の言うことも素直に聞かなくなくなり、家での習慣付けに苦労しています。[高]

▲まだまだ家庭学習の習慣が身に付いていないように思います。自学ノートの内容を見てもいつも同じようなことを書いているので、もっと自分で工夫してやってくれるといいのですが。[高]

▲学校できちんと取り組んでいただいているのですが、家庭学習では、60分の学習は行えていない現状があります。[高]

▲漢字大会や計算大会があるときは、頑張っている様子は見られますが、普段は全然やれていません。[高]

#### 【体験活動（校外学習、地域活動、一人一鉢運動）】

○どの教育活動も子供たちの教育の上でよい活動だと思います。[低]

○いろいろな取組を通してしっかり成長させてもらっているのだと感じます。ありがたいです。これからもよろしく願いいたします。[低]

○何でも一生懸命頑張ったことに対して賞状がもらえることが嬉しいようで意欲につながっています。家で怒られてばかりいる分、学校でたくさんほめられて、楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。[低]

○いろいろと大切だと分かっているけど家庭ではなかなかできません。学校での取組に感謝しています。ありがとうございます。[低]

○体験活動は、普段親が経験させてあげられないこともできるので、とてもよいと思います。[低]

○校外学習で、ザリガニ釣りや図書館に行くなど、身近な自然や施設の利用の仕方等の様々な体験をさせてもらってとてもよいと思います。[低]

○学校では、たくさんのことを実施されていると思い十分だと感じています。[低]

○フレンド集会等、人前で発表する機会がある取組は、とてもよいと思います。大人になっても人前に立つことは多いと思います。一歩踏み出す勇氣、いろいろなことにチャレンジできる取組はよいと思っています。[低] [中]

○体験活動がとても楽しみで積極的に参加できている様子です。体験したことをたくさん話してくれるのでうれしいです。これからも機会を設けてください。[中]

○授業の他に様々な活動をしていただき、とても学校を楽しみにしています。[中]

○校外学習では、実際にどんな事をしているのか、目で見て学べるのでよいと思います。[中]

○校外学習（山本家・原信の見学）が、とても楽しかったようです。興味や関心が広がって関連する本を読んだりするようになりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。[中]

○校外学習で刺激を受け、いろいろなことや仕事に興味をもつようになりよかったです。[中]

○校外学習になると嬉しそうに学校へ行きます。その姿を見ると親も嬉しいです。[中]

○朝の会でのスピーチが大変よいと思います。新聞を読んだり、テレビを見ながら話題を見つけたり調べたりしています。[高]

○委員会活動等、役割を与えられて全うできるよう頑張っているようなのでよかったですと思います。[高]

○委員会や係活動を意欲的に取り組んでおり、一人一人が頑張っていると思います。[高]

○体験活動など、いろいろな活動があるので楽しみながら行っているようです。[高]

★机上で学んだことを体験学習や屋外活動などを通して「活かした知識」にできるような活動が増えればと思います。[低]

★今年度は、収穫祭と保育所の友愛セールが同一日でした。行事が重ならないようにしてほしい

です。[低]

★やらされている感があり、自分たちでやりたいと思う様な方法でもっと楽しい取組があれば全員参加率も上がると思います。[中]

### 3 たくましく（心身の健康づくり）

#### 【わんぱくタイム（全校ランニング、長縄跳び）】

○わんぱくタイムがあることで、意欲的に体を動かすことができていると思います。他の学年と触れ合えるのでいい時間になっていると思います。[中]

★わんぱくタイムを週2回だけでなく、もっと増やすことはできないでしょうか。（特に冬期間は体を動かすことが少なくなりがちで風邪予防等の体力作りのために。）[中]

#### 【すこやかタイム（保健便りを活用した保健指導）】

▲iPadを見ているのですが、「自分から時間を決めて見る」と言ったわりに「これ見てから」と宿題やお風呂を後回しにすることが増えました。「9時までには就寝する」を自主的に頑張っています。今後ゲーム等を買うべきか悩みます。[低]

▲スポ少（野球）を始めて1ヶ月、1日のスケジュールというか時間の使い方がまだできず、いっぱいいっぱい状態です。[中]

▲だんだん就寝時刻が遅くなっています。布団には入っているものの本を読んだりして10時頃まで起きていることが多いです。[中]

#### 【みんなでチャレンジ3015】

○毎日運動も続けています。[中]

★力が有り余って、違うことに使ってしまうことが低学年にはあるように思うので、体を使う3015にプラスして、もう一工夫運動の場を設けてはよいのではないかと思います。[中]

★冬なのでたくさん体を動かしてもらいたいです。[中]

★運動不足なのか体育で跳び箱をすると筋肉痛になりました。冬に向けて室内でも体を動かすようにしたいです。[高]

★運動するのは本人にとっては苦手意識があるので、散歩したり一緒に自転車で出かけたり、体を動かすことを一緒にやっていきたいです。[高]

★「リラックス体操」がよいと思うので、保護者の皆さんにもその存在を知ってほしいです。[高]

★季節的に寒くなり屋外で遊ぶ、体を動かすのは難しくなっています。是非、体育館での活動を増やしてください。[高]

★学校以外では、スポーツ少年団の活動以外、なかなか運動する機会がないので、室内でできる運動など一緒にできればよいと思います。[高]



IV アクションプラン最終報告

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目  | 【徳】生徒指導 ーやさしくー  |
| 重点課題  | 好ましい人間関係を築く子供の育成  |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会が中心となり、地域と連携して「さわやか挨拶運動」を推進した結果、あいさつに対する意識が高まり、明るく元気に挨拶をする子供は増えている。</li> <li>・朝だけでなく「いつでも」、校内だけでなく「どこでも」、地域の方や来校者など「誰にでも」、明るく大きな「相手に伝わる声で」挨拶ができるようになるため、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・温かい人間関係づくりのため挨拶と同様に大切にしたい言葉遣いについては、乱暴な言葉遣いや名前の呼び捨てをするなど、指導が必要な子供が見られる。</li> </ul>  |
| 達成目標  | 強調週間を設け、児童の自己評価で元気のよいあいさつや望ましい言葉遣いができたとする日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。  |
| 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼び掛ける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識を高める。</li> <li>②年間を通して4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進する。</li> <li>③計画委員会や代表委員会が中心となり、全校で「ぼかぼか言葉」を推進する。</li> <li>④積極的な生徒指導により、互いのよさや違いを認め、励まし合える集団づくりに努める。</li> </ul>   |
| 最終報告  | A（11月自己評価）100%（低…100%、中…100%、高…100%）  |
| 成果と課題 | <p>◎今年度も児童会では「あいさつは ニコニコと 大きな声で自分から」を目当てとして挨拶運動に取り組んできました。毎朝、計画委員会の児童が交代で幟旗を持って挨拶を呼びかけたり、挨拶ボランティアの児童が、ビッグハンドで挨拶を交わしたりしながら登校してくる児童を迎えたりする活動を行いました。一日をさわやかな挨拶で始められるようにすることを通して、挨拶の日常化に努めています。</p> <p>◎今年度も地域の皆様にご協力いただき「さわやかあいさつ運動」を実施しました。どの学年もこの活動を楽しみにしており、朝から張り切って挨拶を呼びかける児童の姿が見られました。今後とも朝の挨拶だけではなく、来校者への挨拶等、場に応じた適切な挨拶ができるよう取り組んで参ります。</p> <p>△2学期の振り返り週間では、「あいさつをしたり、ぼかぼか言葉を使ったりしている。」は、全校児童が「よくできた」と答えています。これは、この期間、子供たちが意識して挨拶をしていた結果であると思われます。ただし、本年度より目当てに加えた「ぼかぼか言葉」の評価は、あまり加味されていないように思われます。一方、保護者の評価を見ると、「よくできている」の割合が、全校で約80%と、児童の評価と比べ約20%低くなっています。この違いは、評価する場面が児童は主に「学校」、保護者は「家庭」であることとともに、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常的な姿全般を評価していることによるものではないかと考えます。</p> <p>△評価の中心になっているのが、児童は「挨拶（特に朝の挨拶）」であるのに対し、保護者は、「ぼかぼか言葉」を含めた「言葉遣い」であることにも違いがあるように思われます。保護者から寄せられた意見の中には、「ぼかぼか言葉が定着するよう繰り返し伝えてほしい（中学年保護者）」というような要望や「家庭では言葉遣いがよくない（低・中学年）」という課題もありました。好ましい人間関係を築くためにも、相手を思いやる言葉や言葉遣いはとても大切なものです。今後も、挨拶はもちろんのこと、正しい言葉遣いや相手を思いやる言葉を使うことができるよう、いろいろな場を通して指導していきたいと思えます。</p> |

【徳】やさしく

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目  | 【知】学力向上 一かしく  |
| 重点課題  | 自主的に学習する子供の育成   |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習ががんばり週間を隔月で設けたり、自学ノートカバーを効果的に活用したりすることで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子供が増えている。</li> <li>・確かな学力の定着のため、学習規律（返事、姿勢、鉛筆の持ち方等）の定着を図ったり、「聞く・書く・話す（発表）」活動を大切にしたりした結果、落ち着いて意欲的に学習に取り組む子供が増えている。</li> <li>・家庭学習（自学ノート）の内容については、十分でない面も見られる。</li> </ul>  |
| 達成目標  | 強調週間を設け、家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。   |
| 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭と連携して、家庭学習の習慣が身に付くように努める。</li> <li>②「自学ノート展」等でよいノートを展示したり、授業と連動した内容を提示したりすることにより、自学の内容面の充実に努める。</li> <li>③学習規律を大切に、安心して授業に参加できる雰囲気づくりに努める。</li> </ul>   |
| 最終報告  | A（11月自己評価）96.8%（低…100%、中…93.5%、高…96.2%）   |
| 成果と課題 | <p>◎2学期の振り返り週間では、1学期と同様、約97%の児童が「学年の目標時間以上、家庭学習をした」と答えました。学年間で若干の違いはありますが、概ね目標は達成されているものと思われます。その要因としては、自学ノートを使った家庭学習が定着していることが考えられます。これまでは、目標時間が長くなる高学年で達成されにくい傾向にありましたが、今回のアンケートでは6年生が100%達成するなど、目当てを意識して学習しようとする児童の姿が伺えます。</p> <p>◎「こんな自学どうですか」や「自学ノート展」を継続して、児童の学習意欲の向上や保護者への啓発を続けていきたいと思えます。また、幅広く保護者の方々へ知ってもらうために学級・学校便りや学校ホームページ等でも周知するよう努めていきます。</p> <p>△一方、保護者の評価を見ると「よくできている」の結果が、全校で約75%と児童の評価より20%以上低くなっています。これもアクションプラン1と同様に、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常の児童の姿で評価しているという違いがあると思えます。特に顕著なのが高学年で、児童と保護者の評価の差が約35%あります。高学年になると、スポ少や習い事等もあり、自由に使える時間が少なくなります。その限られた時間の中で1時間程度の家庭学習を毎日継続することは難しいのが現状です。いずれにしても児童と保護者の評価が大きく違っていることをしっかり受けとめ、今後アンケートの仕方や内容を見直していく必要があると考えています。</p> <p>△学習規律の徹底に向けて、職員で共通理解・共通行動を心がけています。しかし、学年の発達段階や児童個々の特性等により徹底できていないところもあります。児童理解を基本としながら規律ある学習活動が行えるよう努力していきたいと思えます。</p> <p>△チャレンジテストの合格が難しい児童が多かったです。漢字や計算問題を繰り返し練習していますが、定着するには時間がかかります。早めに事前練習に取り組むなどの対策を心がけたいと思えます。また、必要に応じて教務主任等も加わり、児童の個別学習や再チャレンジテストの指導を行っています。</p> |

【知】かしく



|       |  |
|-------|--|
| 重点項目  | 【体】健康・安全の指導 ーたくましくー  |
| 重点課題  | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成  |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大休憩や昼休みには進んでグラウンドや体育館へ行き、体を動かす子供が多く、「みんなでチャレンジ3015」にも意欲的に取り組んでいる子供が多い。</li> <li>・日頃から体を動かすことを好み、進んで運動する子供と、わんぱくタイム等特設された時間以外には体を動かさない子供の差が大きい。運動の苦手な子供も無理なく、日常的に運動に親しむことができるような工夫を行っていく必要がある。</li> <li>・基本的な生活習慣が身に付いた子供は増えてきたが、就寝時刻が遅く、睡眠時間が十分でない子供もいる。</li> </ul>  |
| 達成目標  | 「みんなでチャレンジ3015」の達成率が90%以上になることを目指す。  |
| 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①週2回のわんぱくタイム（大休憩時）には、ランニング（晴天時）と長なわとび（雨天時）等に取り組み、運動する喜びを感じ取ることができるようにする。</li> <li>②体育委員会による企画や「みんなでチャレンジ3015」「なわとびカード」等の活用により、運動する環境づくりを行い、運動する習慣が身に付くように努める。</li> <li>③「みんなでチャレンジ3015」の達成状況を掲示したり、紹介したりすることにより意欲付けを図る。</li> </ul>  |
| 最終報告  | A（2月末達成率）97.9%（低…100%、中…95.7%、高…98.1%）   |
| 成果と課題 | <p>◎2学期の振り返り週間では、全校で約90%の児童が、「よくできた」と答えています。アンケートをした時期が、11月末の寒い時期だったこともあり、高学年は1学期より10%程度下がっていますが、低・中学年では若干ですが、1学期を上回っています。これは、冬場の運動である縄跳び運動をする児童が増えてきたためだと考えられます。冬場は毎日コンスタントに運動することが難しくなります。保護者の声にも「体育館での活動を増やしてほしい」という要望や「みんなでチャレンジ3015に加えて、もう一工夫運動の場を設けてはどうか」などの意見もありました。冬場の運動機会の確保と充実に取り組んで参ります。</p> <p>◎週2回あるわんぱくタイムには、晴天時にはグラウンド走、雨天時・冬期間には縦割りグループによる長なわとびや短なわとびに取り組んでいます。大休憩や昼休みには、グラウンドや体育館で元気に遊んでいる児童が多く、体を動かすことが好きな児童が多いです。保護者アンケートでも「わんぱくタイムがあることで、意欲的に体を動かすことができていると思います。他の学年と触れ合えるよい時間になっていると思います。（中学年保護者）」という意見もありました。逆に、「わんぱくタイムが、週2回だけではなく、もっと増やすことはできないでしょうか。特に冬期間は体を動かすことが少なくなりがちで風邪予防等の体力作りのためにも増やしてほしいです。（中学年保護者）」という意見もありました。他の活動とのバランスも考えて次年度検討していきたいと思います。</p> <p>△決められた時間までに就寝していない児童が固定化しています。保護者アンケートでも「iPadを見ているのですが、『自分から時間を決めて見る』と言ったわりに、『これ見てから』と宿題やお風呂を後回しにすることが増えました。今後、ゲーム等を買うべきか悩んでいます。（低学年保護者）」という意見や「だんだん就寝時刻が遅くなっています。布団には入っているものの本を読んだりして10時頃まで起きていることが多いです。（中学年保護者）」などの意見もありました。今後とも、児童への指導を進めるとともに保護者への啓発も含め、家庭と連携しながら指導を継続していく必要があります。</p> |

【体】たくましく

## V 資料

### 1 学校評議員会資料

(1) 第1回学校評議員会（6月28日開催）

(2) 第2回学校評議員会（3月2日開催）

### 2 保護者アンケート用紙

児童自己評価カード



平成29年6月28日

## 第1回 学校評議員会

19時30分より  
於：会議室  
進行・記録：教頭

### ○学校評議員の委嘱【2分】

1 開会のあいさつ（校長）

2 説明・協議

(1) 説明【20分】 ※学校要覧参照

①学校運営方針について（校長10分）

②とやま型学校評価アクションプランについて（教頭10分）

(2) 協議【40分】

①学校運営方針・アクションプランについて

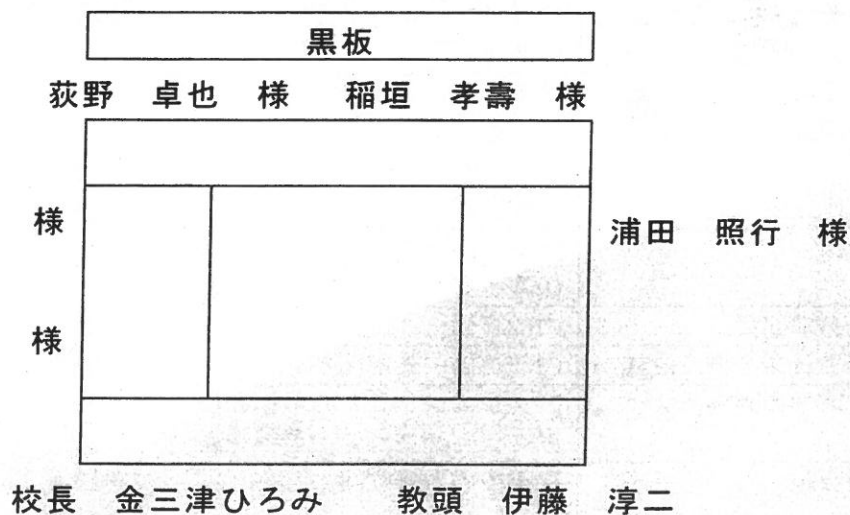
②教育活動全般について

③学校・家庭・地域の連携の在り方について

④その他

3 閉会のあいさつ（校長）

### ○座席



## 第1回学校評議員会資料

### 学校評価実施計画

#### (1) 目標

- ① 教育活動や学校運営の状況について、客観的・総合的に評価し、教育活動や学校運営の改善・充実を図る。
- ② とやま型学校評価（数値目標、外部評価、公開）に積極的に取り組み、家庭や地域社会に開かれ、地域に信頼される学校づくりを推進する。

#### (2) 基本方針

- ① とやま型学校評価（アクションプラン）の重点項目の設定をする。
- ② 校務分掌部会で具体的方策を練り上げ、全教職員の共通理解のもと共通実践を進める。
- ③ 教職員による学校内部評価と教職員以外による外部評価の二本立てとする。
- ④ 内部評価については教育計画書の評価欄を活用し、学期ごとに振り返り、改善を図る。
- ⑤ 外部評価については、年間2回の保護者アンケート・児童自己評価カード、年間2回の学校評議員会によって行う。

※ 学校評議員会には、校長・教頭・PTA会長・荻生自治振興会長・公民館長・主任児童委員・保育所長が参加する。

#### ⑥ 本年度の重点

|          | 重点課題                        | 担当     |
|----------|-----------------------------|--------|
| 徳（やさしく）  | 好ましい人間関係を築く子供の育成            | 生徒指導部会 |
| 知（かしこく）  | 自主的に学習する子供の育成               | 教務部会   |
| 体（たくましく） | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成 | 健康安全部会 |
| 総括       | 全体の考察、次年度への見通しと展望           | 教頭     |

#### (3) 年間計画

| 月  | 会議等                  | 内容   | 公表等                    |
|----|----------------------|--|------------------------|
| 4  | 企画委員会・職員会議<br>校務分掌部会 | 学校評価の基本方針の共通理解<br>教育計画書の評価欄の作成<br>アクションプラン策定 |                        |
| 5  | 職員会議                 | 児童自己評価カードの内容検討                               | 学校だより<br>アクションプラン公表    |
| 6  | 第1回学校評議員会            | 「とやま型学校評価」の趣旨及びアクションプランの説明<br>児童自己評価カードの実施①  | 学校だより                  |
| 7  | 職員会議・校務分掌部会          | 保護者アンケート実施①<br>内部評価                          | 学校評議員会記録公表             |
| 8  | 企画委員会・職員会議           | 結果の分析と改善案の策定                                 |                        |
| 9  | 職員会議・校務分掌部会          | 改善策の実行                                       |                        |
| 10 |                      | アクションプランの中間報告<br>外部評価の分析                     | 学校だより<br>保護者のアンケート結果報告 |
| 11 |                      | 児童自己評価カードの実施②<br>保護者アンケート実施②                 |                        |
| 12 | 校務分掌部会               | 内部評価   | 結果の分析と改善案の策定           |
| 1  | 企画委員会・職員会議           | 内部評価・外部評価分析                                  | 共通理解                   |
| 2  | 第2回学校評議員会            | アクションプランの取組の評価<br>アクションプランの最終報告              | 学校だより<br>保護者のアンケート結果報告 |
| 3  | 職員会議                 | 次年度の方針立案                                     | 学校だより<br>最終報告          |

第1回学校評議員会資料

平成29年度 荻生小学校アクションプラン1

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 【徳】生徒指導 ーやさしくー   |
| 重点課題 | 好ましい人間関係を築く子供の育成   |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会が中心となり、地域と連携して「さわやか挨拶運動」を推進した結果、あいさつに対する意識が高まり、明るく元気に挨拶をする子供は増えている。</li> <li>・朝だけでなく「いつでも」、校内だけでなく「どこでも」、地域の方や来校者など「誰にでも」、明るく大きな「相手に伝わる声で」挨拶ができるようにするため、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・温かい人間関係づくりのため挨拶と同様に大切にしたい言葉遣いについては、乱暴な言葉遣いや名前の呼び捨てをするなど、指導が必要な子供が見られる。</li> </ul> |
| 達成目標 | 強調週間を設け、児童の自己評価で元気のよいあいさつや望ましい言葉遣いができたとする日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。   |
| 方 策  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼び掛ける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識を高める。</li> <li>② 年間を通して4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進する。</li> <li>③ 計画委員会や代表委員会が中心となり、全校で「ぼかぼか言葉」を推進する。</li> <li>④ 積極的な生徒指導により、互いのよさや違いを認め、励まし合える集団づくりに努める。</li> </ol>  |

平成29年度 荻生小学校アクションプラン2

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 【知】学力向上 ーかしこくー  |
| 重点課題 | 自主的に学習する子供の育成   |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習がんばり週間を隔月で設けたり、自学ノートカバーを効果的に活用したりすることで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子供が増えている。</li> <li>・確かな学力の定着のため、学習規律（返事、姿勢、鉛筆の持ち方等）の定着を図ったり、「聞く・書く・話す（発表）」活動を大切にしたりした結果、落ち着いて意欲的に学習に取り組む子供が増えている。</li> <li>・家庭学習（自学ノート）の内容については、十分でない面も見られる。</li> </ul> |
| 達成目標 | 強調週間を設け、家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。   |
| 方 策  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭と連携して、家庭学習の習慣が身に付くように努める。</li> <li>② 「自学ノート展」等でよいノートを展示したり、授業と連動した内容を提示したりすることにより、自学の内容面の充実に努める。</li> <li>③ 学習規律を大切に、安心して授業に参加できる雰囲気づくりに努める。</li> </ol>  |

平成29年度 荻生小学校アクションプラン3

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 【体】健康・安全の指導 ーたくましくー   |
| 重点課題 | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成   |
| 現 状  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大休憩や昼休みには進んでグラウンドや体育館へ行き、体を動かす子供が多く、「みんなでチャレンジ3015」にも意欲的に取り組んでいる子供が多い。</li> <li>・日頃から体を動かすことを好み、進んで運動する子供と、わんぱくタイム等特設された時間以外には体を動かさない子供の差が大きい。運動の苦手な子供も無理なく、日常的に運動に親しむことができるような工夫を行っていく必要がある。</li> <li>・基本的な生活習慣が身に付いた子供は増えてきたが、就寝時刻が遅く、睡眠時間が十分でない子供もいる。</li> </ul> |
| 達成目標 | 「みんなでチャレンジ3015」の達成率が90%以上になることを目指す。   |
| 方 策  | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 週2回のわんぱくタイム（大休憩時）には、ランニング（晴天時）と長なわとび（雨天時）等に取り組む、運動する喜びを感じ取ることができるようにする。</li> <li>② 体育委員会による企画や「みんなでチャレンジ3015」「なわとびカード」等の活用により、運動する環境づくりを行い、運動する習慣が身に付くように努める。</li> <li>③ 「みんなでチャレンジ3015」の達成状況を掲示したり、紹介したりすることにより意欲付けを図る。</li> </ol>                                |



資料（平成29年度 主な行事やできごと）

| 月 | 日  | 曜 | 主 な 行 事 等  |
|---|----|---|--|
| 4 | 1  | 土 | 職員着任（金三津ひろみ校長、伊藤淳二教頭、新田美智代教諭、水島智征教諭、板本雄太教諭（新規採用）、鈴木聡子（育児休業を修了し復帰）    |
| 4 | 2  | 日 |  |
| 4 | 3  | 月 |  |
| 4 | 4  | 火 |  |
| 4 | 5  | 水 | 始業式・離任式前日準備  |
| 4 | 6  | 木 | 離任式・着任式・第1学期始業式  |
| 4 | 7  | 金 | 2～6年生給食開始、入学式前日準備  |
| 4 | 8  | 土 |  |
| 4 | 9  | 日 |  |
| 4 | 10 | 月 | 平成29年度入学式（男子21名、女子14名、計35名）<br>通学バッグ贈呈式、集団登校対面式、保護者説明会               |
| 4 | 11 | 火 | 1年生給食開始、集団下校、小教研学力調査（3～6年算数・社会）<br>スタディメイト・学校司書勤務開始、ことばの教室開始、青パト隊出発式 |
| 4 | 12 | 水 | 小教研学力調査（3～6年国語・理科）英会話科開始（ALTサマンサ、<br>JAT平野智恵着任）、PTA執行部会・常任委員会        |
| 4 | 13 | 木 | 3～6年生交通安全教室、身体測定（全）  |
| 4 | 14 | 金 | 1・2年生交通安全教室（学校周辺道路歩行訓練）、委員会活動発足                                      |
| 4 | 15 | 土 |  |
| 4 | 16 | 日 |  |
| 4 | 17 | 月 | 視力測定（上）  |
| 4 | 18 | 火 | 6年全国学力学習状況調査（国語・算数）、中学校統合に関わる説明会<br>PTA全体委員会                         |
| 4 | 19 | 水 | 連体朝練習スタート、光化学オキシダント訓練  |
| 4 | 20 | 木 | 聴力検査（低）  |
| 4 | 21 | 金 | 聴力検査（3・5年）、1年生歓迎集会   |
| 4 | 22 | 土 | 学習参観・PTA総会・学級懇談会、PTA歓送迎会   |
| 4 | 23 | 日 |  |
| 4 | 24 | 月 | 振替休業日（22日学習参観の振替）  |
| 4 | 25 | 火 |  |
| 4 | 26 | 水 | 春の遠足（1・2年富山アルペン乳業・富山市ファミリーパーク、3・4<br>年ワンダーラボ、県総合運動公園、ささら屋立山店）        |
| 4 | 27 | 木 | 3・4年自転車安全教室、スクールカウンセラー竹田先生勤務開始<br>連体放課後練習スタート                        |
| 4 | 28 | 金 | 歯科健診（全）  |
| 4 | 29 | 土 | 昭和の日   |
| 4 | 30 | 日 |  |
| 5 | 1  | 月 | 縦割り給食スタート、YKK AP 本の寄贈式   |
| 5 | 2  | 火 |  |
| 5 | 3  | 水 | 憲法記念日  |
| 5 | 4  | 木 | みどりの日  |
| 5 | 5  | 金 | こどもの日  |
| 5 | 6  | 土 |  |
| 5 | 7  | 日 |  |
| 5 | 8  | 月 | 4年校外学習（黒部消防署）、委員会活動  |
| 5 | 9  | 火 | わんぱくタイム開始、尿検査①、内科検診（全）   |
| 5 | 10 | 水 | 尿検査②   |
| 5 | 11 | 木 | 眼科・耳鼻科健診（全）  |
| 5 | 12 | 金 |  |
| 5 | 13 | 土 |  |
| 5 | 14 | 日 |  |



|   |    |   |   |
|---|----|---|---|
| 5 | 15 | 月 |   |
| 5 | 16 | 火 |   |
| 5 | 17 | 水 |   |
| 5 | 18 | 木 |   |
| 5 | 19 | 金 | 黒部市小学校連合体育大会（5・6年生）                                 |
| 5 | 20 | 土 |   |
| 5 | 21 | 日 |   |
| 5 | 22 | 月 |   |
| 5 | 23 | 火 | 校内教育支援委員会①  |
| 5 | 24 | 水 | 家庭訪問①、ケース会議   |
| 5 | 25 | 木 | 家庭訪問②   |
| 5 | 26 | 金 | 家庭訪問③、5年バケツ稲栽培、愛校作業前日準備、プール更衣室屋根改修工事～6/22           |
| 5 | 27 | 土 | PTA愛校作業   |
| 5 | 28 | 日 | 第68回全国植樹祭   |
| 5 | 29 | 月 | 家庭学習がんばり週間～6/4                                      |
| 5 | 30 | 火 | 5・6年生花壇の花苗植え（1～4年生は除草）                              |
| 5 | 31 | 水 | 4年知能検査  |
| 6 | 1  | 木 | 6年総合「神社清掃」  |
| 6 | 2  | 金 | 授賞集会、黒部市健全活動少年団役員任命式・入団式、委員会活動                      |
| 6 | 3  | 土 | カーター記念黒部名水マラソン（応援）                                  |
| 6 | 4  | 日 |   |
| 6 | 5  | 月 | 一人一鉢ベゴニア植え付け  |
| 6 | 6  | 火 | 相撲朝練習開始   |
| 6 | 7  | 水 | 5・6年トロッコ電車乗車体験学習会                                   |
| 6 | 8  | 木 | 1年心臓検診、1年生給食試食会                                     |
| 6 | 9  | 金 | フレンド集会（保健委員会）、2年町探検                                 |
| 6 | 10 | 土 | 荻生地区敬老会   |
| 6 | 11 | 日 | わんぱく相撲名水場所（4年3名参加）                                  |
| 6 | 12 | 月 | さわやかあいさつ運動～19日、血液検査（5年）                             |
| 6 | 13 | 火 | 3年総合「山本家見学」、PTA臨時執行部会                               |
| 6 | 14 | 水 |   |
| 6 | 15 | 木 | プール清掃   |
| 6 | 16 | 金 | フレンド集会（2年生）、避難訓練（地震・津波）、クラブ活動結成                     |
| 6 | 17 | 土 |   |
| 6 | 18 | 日 |   |
| 6 | 19 | 月 | PTA臨時常任委員会  |
| 6 | 20 | 火 | 黒部市教育委員会・黒部市教育センター学校訪問                              |
| 6 | 21 | 水 | 6年総合「荻生保育所訪問」、5年バケツ稲栽培分株作業                          |
| 6 | 22 | 木 | プール開き式  |
| 6 | 23 | 金 | クラブ活動②  |
| 6 | 24 | 土 | 青少年育成黒部市民会議総会                                       |
| 6 | 25 | 日 |   |
| 6 | 26 | 月 | 家庭学習がんばり週間～7/2、振り返ってみよう週間～6/2<br>4年上下水道見学、6年図工焼き物教室 |
| 6 | 27 | 火 | 4年プラネタリウム学習、PTA常任委員会・全体研修会                          |
| 6 | 28 | 水 | 学校評議員会①   |
| 6 | 29 | 木 | 黒部市特別支援学級合同学習会（宇奈月方面）、エアコン設置工事完成検査                  |
| 6 | 30 | 金 | フレンド集会（3年生）、学童保育運営委員会                               |
| 7 | 1  | 土 |   |
| 7 | 2  | 日 | 全国小学生陸上競技交流会富山県大会（児童3名参加）                           |
| 7 | 3  | 月 | 6年黒部市美術館出前授業、特別非常勤講師堀田先生水泳指導（6年）                    |
| 7 | 4  | 火 | プール水質検査   |



|   |    |   |  |
|---|----|---|--|
| 7 | 5  | 水 | 特別非常勤講師堀田先生水泳指導（3年・2年）<br>学習参観・学級懇談会・PTA心肺蘇生法講習会     |
| 7 | 6  | 木 | 特別非常勤講師堀田先生水泳指導（5年・4年）<br>プール更衣室屋根等改修工事完成検査、公民館運営審議会 |
| 7 | 7  | 金 | フレンド集会（5年生）、クラブ活動③                                   |
| 7 | 8  | 土 |  |
| 7 | 9  | 日 | PTA親子作品作り（荻生の館）                                      |
| 7 | 10 | 月 |  |
| 7 | 11 | 火 | 6年黒部市美術館出前授業②、特別非常勤講師堀田先生水泳指導（1～5年）、薬物乱用防止教室（5・6年）   |
| 7 | 12 | 水 | 2年生生活科校外学習（箱根清水）、黒部市学校花壇コンクール                        |
| 7 | 13 | 木 | 6年総合「池田リハビリテーション病院訪問」                                |
| 7 | 14 | 金 | 2年生生活科校外学習（くろべ牧場まきばの風）、クラブ活動④                        |
| 7 | 15 | 土 |  |
| 7 | 16 | 日 |  |
| 7 | 17 | 月 | 海の日  |
| 7 | 18 | 火 | ラジオ体操指導①   |
| 7 | 19 | 水 | 特別非常勤講師堀田先生水泳指導（1年）、着衣泳（3・4年）                        |
| 7 | 20 | 木 | 着衣泳（5・6年）、地区児童会・集団下校                                 |
| 7 | 21 | 金 | 通学路危険箇所調査、ラジオ体操指導②、1学期給食最終日<br>ランチルームワックスがけ①         |
| 7 | 22 | 土 | 黒部市社会福祉大会（6年児童参加）                                    |
| 7 | 23 | 日 |  |
| 7 | 24 | 月 | 第1学期終業式、ランチルームワックスがけ②                                |
| 7 | 25 | 火 | 夏期休業～8/31、1年生保育所でのカレーパーティー                           |
| 7 | 26 | 水 | 5・6年宿泊学習（国立立山青少年自然の家）1日目                             |
| 7 | 27 | 木 | 5・6年宿泊学習（国立立山青少年自然の家）2日目                             |
| 7 | 28 | 金 |  |
| 7 | 29 | 土 |  |
| 7 | 30 | 日 |  |
| 7 | 31 | 月 |  |
| 8 | 1  | 火 |  |
| 8 | 2  | 水 |  |
| 8 | 3  | 木 |  |
| 8 | 4  | 金 |  |
| 8 | 5  | 土 |  |
| 8 | 6  | 日 |  |
| 8 | 7  | 月 |  |
| 8 | 8  | 火 |  |
| 8 | 9  | 水 |  |
| 8 | 10 | 木 |  |
| 8 | 11 | 金 | 山の日  |
| 8 | 12 | 土 |  |
| 8 | 13 | 日 |  |
| 8 | 14 | 月 |  |
| 8 | 15 | 火 | 荻生地区奉納相撲大会、盆踊り、納涼祭                                   |
| 8 | 16 | 水 | 英語サマーキャンプ1日目（あこやへの 5年女子5名参加）                         |
| 8 | 17 | 木 | 英語サマーキャンプ2日目   |
| 8 | 18 | 金 | 英語サマーキャンプ最終日（グループ発表）                                 |
| 8 | 19 | 土 |  |
| 8 | 20 | 日 |  |
| 8 | 21 | 月 |  |
| 8 | 22 | 火 |  |
| 8 | 23 | 水 |  |



|    |    |   |  |
|----|----|---|--|
| 8  | 24 | 木 |  |
| 8  | 25 | 金 |  |
| 8  | 26 | 土 |  |
| 8  | 27 | 日 |  |
| 8  | 28 | 月 | 校内水泳記録会  |
| 8  | 29 | 火 | 親切運動推進協力委嘱校懇談会（県東部地区）  |
| 8  | 30 | 水 |  |
| 8  | 31 | 木 |  |
| 9  | 1  | 金 | 第2学期始業式、シェイクアウトとやま、2学期給食開始、身体測定・視力測定（あおぞら・ひまわり級）、市科学展・発明くふう展校内審査 |
| 9  | 2  | 土 |  |
| 9  | 3  | 日 |  |
| 9  | 4  | 月 | 身体測定（1～6年）、視力測定（1～5年）、漢字・計算大会～9日、運動会練習開始、委員会活動                   |
| 9  | 5  | 火 | 視力測定（6年）、代表委員会（運動会の目当て）  |
| 9  | 6  | 水 | 6年英会話授業学習参観  |
| 9  | 7  | 木 | 4年校外学習（エコぼ～と、宮沢清掃センター）<br>校内夏休み作品展～13日                           |
| 9  | 8  | 金 | 黒部市発明くふう展～21日  |
| 9  | 9  | 土 |  |
| 9  | 10 | 日 |  |
| 9  | 11 | 月 |  |
| 9  | 12 | 火 | PTA常任委員会・全体委員会   |
| 9  | 13 | 水 |  |
| 9  | 14 | 木 |  |
| 9  | 15 | 金 | 運動会前日準備、安全祈願   |
| 9  | 16 | 土 | 平成29年度大運動会   |
| 9  | 17 | 日 |  |
| 9  | 18 | 月 | 敬老の日   |
| 9  | 19 | 火 | 運動会の振替休業日  |
| 9  | 20 | 水 | 運動会の片付け、職員用パソコン入れ替え  |
| 9  | 21 | 木 | パソコン室児童用パソコン入れ替え、公民館運営審議会  |
| 9  | 22 | 金 | フレンド集会（1年生の発表、創校記念の話）、クラブ活動⑤<br>PTA執行部会                          |
| 9  | 23 | 土 | 黒部市児童クラブ大会（6年生参加）  |
| 9  | 24 | 日 |  |
| 9  | 25 | 月 |  |
| 9  | 26 | 火 | 5年写生会（八幡社）   |
| 9  | 27 | 水 | 4年宿泊学習1日目（新川リサイクルセンター、あこや～の）                                     |
| 9  | 28 | 木 | 4年宿泊学習2日目（あこや～の、十二貫野用水）  |
| 9  | 29 | 金 | 授賞集会   |
| 9  | 30 | 土 | 荻生保育所運動会（1年生参加）  |
| 10 | 1  | 日 | 荻生区民体育大会（児童は荻生小唄に出場）   |
| 10 | 2  | 月 | 家庭学習がんばり週間～8日  |
| 10 | 3  | 火 | 就学時健康診断  |
| 10 | 4  | 水 | 特別支援級6年親子桜井中特支級授業参観  |
| 10 | 5  | 木 | 学校保健委員会  |
| 10 | 6  | 金 | 荻生地区社会福祉協議会理事会   |
| 10 | 7  | 土 |  |
| 10 | 8  | 日 |  |
| 10 | 9  | 月 | 体育の日   |
| 10 | 10 | 火 | Q-U調査（3～6年）  |
| 10 | 11 | 水 | メーコン市高校生学校訪問（メーコン市高校生15名、教職員3名来校）<br>小天狗の舞放課後練習①（4～6年）           |



|    |    |   |  |
|----|----|---|--|
| 10 | 12 | 木 | 小天狗の舞放課後練習②（4～6年）、フレンド集会   |
| 10 | 13 | 金 | 小天狗の舞放課後練習③（4～6年）、PTA広報部会  |
| 10 | 14 | 土 | 荻生地区秋祭り（小天狗の舞、子供御輿）  |
| 10 | 15 | 日 | 黒部市民体育大会（雨天のため小学生リレーは中止）   |
| 10 | 16 | 月 | さわやかあいさつ運動～24日、チャレンジテスト～11/8                                       |
| 10 | 17 | 火 | 3年生社会科現地学習（原信黒部店）  |
| 10 | 18 | 水 | 卒業写真撮影（6年生・教職員）、廊下ワックス塗り   |
| 10 | 19 | 木 |  |
| 10 | 20 | 金 | 黒部市小学校音楽会（5・6年 鑑賞）   |
| 10 | 21 | 土 | 黒部市児童クラブジュニアパークゴルフ教室（3年1名参加）                                       |
| 10 | 22 | 日 |  |
| 10 | 23 | 月 |  |
| 10 | 24 | 火 |  |
| 10 | 25 | 水 | 4年カッターレサッカー教室、校内持久走記録会～11/20                                       |
| 10 | 26 | 木 | 3年公民館祭りリハーサル   |
| 10 | 27 | 金 | フレンド集会、公民館祭り作品展示（4～6年）   |
| 10 | 28 | 土 | 公民館祭り1日目（大正琴クラブリハーサル 児童8名参加）                                       |
| 10 | 29 | 日 | 公民館祭り2日目（大正琴クラブ、3年生よさこい、6年生フリーマーケット）                               |
| 10 | 30 | 月 | 公民館祭り作品搬出  |
| 10 | 31 | 火 |  |
| 11 | 1  | 水 | 通常訪問研修会  |
| 11 | 2  | 木 | 4年北方領土教室、小教研後期学力調査   |
| 11 | 3  | 金 | 文化の日、JAくろべ農業祭1日目   |
| 11 | 4  | 土 | JAくろべ農業祭2日目 作文発表・表彰式（5年1名参加）                                       |
| 11 | 5  | 日 |  |
| 11 | 6  | 月 |  |
| 11 | 7  | 火 | 県東部教育課程研究集会（児童休業日）   |
| 11 | 8  | 水 | ストーブ設置作業（6年・教職員）   |
| 11 | 9  | 木 | 学校給食訪問、6年総合「池田リハビリテーション病院訪問」                                       |
| 11 | 10 | 金 | 収穫祭前日準備  |
| 11 | 11 | 土 | 収穫祭（荻生の館、荻生小）  |
| 11 | 12 | 日 |  |
| 11 | 13 | 月 | 黒部地場産学校給食の日、ふれあい週間～17日   |
| 11 | 14 | 火 |  |
| 11 | 15 | 水 |  |
| 11 | 16 | 木 | 2年生活科校外学習（黒部市図書館、コラーレ）<br>第2回黒部市特別支援学級合同学習会（あこや～の）<br>3年黒部市美術館出前授業 |
| 11 | 17 | 金 |  |
| 11 | 18 | 土 | 黒部市幼・小・申美術展～20日（コラーレ）  |
| 11 | 19 | 日 |  |
| 11 | 20 | 月 | 避難訓練（火災）   |
| 11 | 21 | 火 | 学習参観、PTA教養講座（講師：造形作家 清河 北斗 氏 「見えるものと見えないもの」、児童引き渡し訓練）              |
| 11 | 22 | 水 | 6年桜井中学校見学会、5年総合「荻生のすごい人」   |
| 11 | 23 | 木 | 勤労感謝の日   |
| 11 | 24 | 金 | 3年総合校外学習「山本家見学」  |
| 11 | 25 | 土 | 黒部市実践意見発表会・善行賞授賞式（6年1名参加）  |
| 11 | 26 | 日 | 荻生体協ボウリング大会  |
| 11 | 27 | 月 | 家庭学習がんばり週間～12/3、ふりかえってみよう週間～12/1<br>スマイル集会計画会                      |
| 11 | 28 | 火 | 富山県発明とくふう展表彰式（6年1名参加）、校内委員会  |
| 11 | 29 | 水 |  |



|    |    |   |   |
|----|----|---|---|
| 11 | 30 | 木 | 5年総合「荻生のすごい人」スイーツデコ作り                       |
| 12 | 1  | 金 | 授賞集会、スマイル集会（人権集会）、委員会・クラブ活動写真撮影             |
| 12 | 2  | 土 | P T A新年度役員選出（4・5年保護者 荻生の館）                  |
| 12 | 3  | 日 |   |
| 12 | 4  | 月 | 校内教育支援会議                                    |
| 12 | 5  | 火 |   |
| 12 | 6  | 水 |   |
| 12 | 7  | 木 | 個別懇談会1日目（1・2・3分団）                           |
| 12 | 8  | 金 | 個別懇談会2日目（4・5分団）                             |
| 12 | 9  | 土 |   |
| 12 | 10 | 日 |   |
| 12 | 11 | 月 | 学期末清掃強調週間～15日                               |
| 12 | 12 | 火 |   |
| 12 | 13 | 水 |   |
| 12 | 14 | 木 | 児童クラブドッジボール大会練習                             |
| 12 | 15 | 金 | 地区児童会・集団下校（付き添い）                            |
| 12 | 16 | 土 | 黒部市児童クラブドッジボール交流会（6年生7名参加）                  |
| 12 | 17 | 日 |   |
| 12 | 18 | 月 |   |
| 12 | 19 | 火 |   |
| 12 | 20 | 水 |   |
| 12 | 21 | 木 | 2学期給食最終日、ランチルームワックスがけ①                      |
| 12 | 22 | 金 | 第2学期終業式、ランチルームワックスがけ②                       |
| 12 | 23 | 土 |   |
| 12 | 24 | 日 |   |
| 12 | 25 | 月 | 冬季休業～1/9                                    |
| 12 | 26 | 火 |   |
| 12 | 27 | 水 |   |
| 12 | 28 | 木 |   |
| 12 | 29 | 金 |   |
| 12 | 30 | 土 |   |
| 12 | 31 | 日 |   |
| 1  | 1  | 月 | 元日  |
| 1  | 2  | 火 |   |
| 1  | 3  | 水 |   |
| 1  | 4  | 木 |   |
| 1  | 5  | 金 |   |
| 1  | 6  | 土 |   |
| 1  | 7  | 日 |   |
| 1  | 8  | 月 | 成人の日  |
| 1  | 9  | 火 | 第3学期始業式、校内書初大会、3学期給食開始                      |
| 1  | 10 | 水 | 身体測定（全）、校内書初展～17日                           |
| 1  | 11 | 木 | 特別非常勤講師澤井先生情報教育指導（全）、視力測定（全）<br>漢字・計算大会～17日 |
| 1  | 12 | 金 | 委員会活動                                       |
| 1  | 13 | 土 |   |
| 1  | 14 | 日 |   |
| 1  | 15 | 月 |   |
| 1  | 16 | 火 | 特別非常勤講師澤井先生情報教育指導（1・2・3・6年）                 |
| 1  | 17 | 水 | 学校給食週間～25日、P T A常任委員会・全体委員会                 |
| 1  | 18 | 木 | 特別非常勤講師澤井先生情報教育指導（4・6年）、代表委員会               |
| 1  | 19 | 金 | スキー学習会事前指導（4～6年）                            |
| 1  | 20 | 土 | 黒部市年賀状展～21日（コラーレ）                           |



|   |    |   |   |
|---|----|---|---|
| 1 | 21 | 日 |   |
| 1 | 22 | 月 | 1年黒部市美術館出前授業                                |
| 1 | 23 | 火 | 6年租税教室、6年「僕の夢・私の夢」収録                        |
| 1 | 24 | 水 | 特別非常勤講師澤井先生情報教育指導（1～5年）                     |
| 1 | 25 | 木 |   |
| 1 | 26 | 金 | スマイルスマイル集会（1～3年）                            |
| 1 | 27 | 土 |   |
| 1 | 28 | 日 |   |
| 1 | 29 | 月 |   |
| 1 | 30 | 火 | 特別非常勤講師澤井先生情報教育指導（1・5・6年）<br>5年味噌作り教室（荻生の館） |
| 1 | 31 | 水 | ラジオミュー収録（6年・教員）                             |
| 2 | 1  | 木 | 代表委員会（6年生を送る会について）                          |
| 2 | 2  | 金 |   |
| 2 | 3  | 土 |   |
| 2 | 4  | 日 |   |
| 2 | 5  | 月 | 学習参観・学級懇談会・中学校進学説明会                         |
| 2 | 6  | 火 |   |
| 2 | 7  | 水 |   |
| 2 | 8  | 木 | 校内なわとび記録会、赤い羽根共同募金引き渡し式                     |
| 2 | 9  | 金 | 1年生と保育所年長児との交流会                             |
| 2 | 10 | 土 | PTA次年度部長・副部長選出会議                            |
| 2 | 11 | 日 | 建国記念の日                                      |
| 2 | 12 | 月 | 振替休日、富山県書初競書会（富山市総合体育館 児童4名参加）              |
| 2 | 13 | 火 | チャレンジテスト週間～2/26                             |
| 2 | 14 | 水 |   |
| 2 | 15 | 木 | PTA広報部会（荻生の館）                               |
| 2 | 16 | 金 |   |
| 2 | 17 | 土 |   |
| 2 | 18 | 日 |   |
| 2 | 19 | 月 |   |
| 2 | 20 | 火 |   |
| 2 | 21 | 水 |   |
| 2 | 22 | 木 |   |
| 2 | 23 | 金 | 6年生を送る会                                     |
| 2 | 24 | 土 |   |
| 2 | 25 | 日 | 第54回親切・善行感謝の集い                              |
| 2 | 26 | 月 | 避難訓練（不審者対応訓練）                               |
| 2 | 27 | 火 | 公民館運営審議会                                    |
| 2 | 28 | 水 |   |
| 3 | 1  | 木 | 教室ワックスがけ                                    |
| 3 | 2  | 金 | 学校評議員会②、委員会活動最終、廊下・教室ワックスがけ                 |
| 3 | 3  | 土 | PTA資源回収・新旧役員引継ぎ                             |
| 3 | 4  | 日 |   |
| 3 | 5  | 月 | 学年末清掃強調週間～15日（木）                            |
| 3 | 6  | 火 |   |
| 3 | 7  | 水 |   |
| 3 | 8  | 木 |   |
| 3 | 9  | 金 | 地区児童会・集団下校、校内教育支援委員会                        |
| 3 | 10 | 土 |   |
| 3 | 11 | 日 |   |
| 3 | 12 | 月 | 授賞集会  |
| 3 | 13 | 火 | 卒業式予行、卒業祝い品等授与式                             |

|   |    |   |                                |
|---|----|---|--------------------------------|
| 3 | 14 | 水 | 英会話最終日                         |
| 3 | 15 | 木 | 卒業式前日準備、6年給食最終日                |
| 3 | 16 | 金 | 平成29年度 卒業証書授与式、門出の式            |
| 3 | 17 | 土 | PTA街頭指導～24日                    |
| 3 | 18 | 日 |                                |
| 3 | 19 | 月 |                                |
| 3 | 20 | 火 | ストーブ片付け（5年・教職員）                |
| 3 | 21 | 水 | 春分の日                           |
| 3 | 22 | 木 | 給食最終日（1～5年）、ランチルームワックスがけ①      |
| 3 | 23 | 金 | 平成29年度 修了式、ランチルームワックスがけ②、新年度準備 |
| 3 | 24 | 土 | 荻生保育所修了式                       |
| 3 | 25 | 日 |                                |
| 3 | 26 | 月 |                                |
| 3 | 27 | 火 |                                |
| 3 | 28 | 水 |                                |
| 3 | 29 | 木 |                                |
| 3 | 30 | 金 |                                |
| 3 | 31 | 土 |                                |





## アクションプラン最終報告

|         |       |   |
|---------|-------|---|
| 【徳】やさしく | 重点項目  | 【徳】生徒指導 ーやさしくー  |
|         | 重点課題  | 好ましい人間関係を築く子供の育成  |
|         | 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会が中心となり、地域と連携して「さわやか挨拶運動」を推進した結果、あいさつに対する意識が高まり、明るく元気に挨拶をする子供は増えている。</li> <li>・朝だけでなく「いつでも」、校内だけでなく「どこでも」、地域の方や来校者など「誰にでも」、明るく大きな「相手に伝わる声で」挨拶ができるようにするため、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・温かい人間関係づくりのため挨拶と同様に大切にしたい言葉遣いについては、乱暴な言葉遣いや名前の呼び捨てをするなど、指導が必要な子供が見られる。</li> </ul>  |
|         | 達成目標  | 強調週間を設け、児童の自己評価で元気のよいあいさつや望ましい言葉遣いができたとする日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。  |
|         | 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の方と行う「さわやか挨拶運動」や計画委員会が呼び掛ける毎朝の「挨拶運動」を通して、挨拶への意識を高める。</li> <li>②年間を通して4A運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ、あんぜん）を推進する。</li> <li>③計画委員会や代表委員会が中心となり、全校で「ぼかぼか言葉」を推進する。</li> <li>④積極的な生徒指導により、互いのよさや違いを認め、励まし合える集団づくりに努める。</li> </ul>   |
|         | 最終報告  | A（11月自己評価）100%（低…100%、中…100%、高…100%）  |
|         | 成果と課題 | <p>◎今年度も児童会では「あいさつは ニコニコと 大きな声で自分から」を目当てとして挨拶運動に取り組んできました。毎朝、計画委員会の児童が交代で幟旗を持って挨拶を呼びかけたり、挨拶ボランティアの児童が、ビッグハンドで挨拶を交わしたりしながら登校してくる児童を迎えたりする活動を行いました。一日をさわやかな挨拶で始められるようにすることを通して、挨拶の日常化に努めています。</p> <p>◎今年度も地域の皆様にご協力いただき「さわやかあいさつ運動」を実施しました。どの学年もこの活動を楽しみにしており、朝から張り切って挨拶を呼びかける児童の姿が見られました。今後とも朝の挨拶だけではなく、来校者への挨拶等、場に応じた適切な挨拶ができるよう取り組んで参ります。</p> <p>△2学期の振り返り週間では、「あいさつをしたり、ぼかぼか言葉を使ったりしている。」は、全校児童が「よくできた」と答えています。これは、この期間、子供たちが意識して挨拶をしていた結果であると思われます。ただし、本年度より目当てに加えた「ぼかぼか言葉」の評価は、あまり加味されていないように思われます。一方、保護者の評価を見ると、「よくできている」の割合が、全校で約80%と、児童の評価と比べ約20%低くなっています。この違いは、評価する場面が児童は「学校」、保護者は「家庭」であることとともに、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常的な姿全般を評価していることによるものではないかと考えます。</p> <p>△評価の中心になっているのが、児童は「挨拶（特に朝の挨拶）」であるのに対し、保護者は、「ぼかぼか言葉」を含めた「言葉遣い」であることにも違いがあるように思われます。保護者から寄せられた意見の中には、「ぼかぼか言葉が定着するよう繰り返し伝えてほしい（中学年保護者）」というような要望や「家庭では言葉遣いがよくない（低・中学年）」という課題もありました。好ましい人間関係を築くためにも、相手を思いやる言葉や言葉遣いはとても大切なものです。今後も、挨拶はもちろんのこと、正しい言葉遣いや相手を思いやる言葉を使うことができるよう、いろいろな場を通して指導していきたいと思えます。</p> |

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目  | 【知】学力向上 ーかしこくー   |
| 重点課題  | 自主的に学習する子供の育成  |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習ががんばり週間を隔月で設けたり、自学ノートカバーを効果的に活用したりすることで、家庭学習に意欲的に取り組もうとする子供が増えている。</li> <li>・確かな学力の定着のため、学習規律（返事、姿勢、鉛筆の持ち方等）の定着を図ったり、「聞く・書く・話す（発表）」活動を大切にしたりした結果、落ち着いて意欲的に学習に取り組む子供が増えている。</li> <li>・家庭学習（自学ノート）の内容については、十分でない面も見られる。</li> </ul>   |
| 達成目標  | 強調週間を設け、家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した日が8割以上ある児童の割合90%以上を目指す。  |
| 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭と連携して、家庭学習の習慣が身に付くように努める。</li> <li>②「自学ノート展」等でよいノートを展示したり、授業と連動した内容を提示したりすることにより、自学の内容面の充実に努める。</li> <li>③学習規律を大切にし、安心して授業に参加できる雰囲気づくりに努める。</li> </ul>   |
| 最終報告  | A（11月自己評価）96.8%（低…100%、中…93.5%、高…96.2%）  |
| 成果と課題 | <p>◎2学期の振り返り週間では、1学期と同様、約97%の児童が「学年の目標時間以上、家庭学習をした」と答えました。学年間で若干の違いはありますが、概ね目標は達成されているものと思われます。その要因としては、自学ノートを使った家庭学習が定着していることが考えられます。これまでは、目標時間が長くなる高学年で達成されにくい傾向にありましたが、今回のアンケートでは6年生が100%達成するなど、目当てを意識して学習しようとする児童の姿が伺えます。</p> <p>◎「こんな自学どうですか」や「自学ノート展」を継続して、児童の学習意欲の向上や保護者への啓発を続けていきたい。また、幅広く保護者の方々へ知ってもらうために学級・学校便りや学校ホームページ等で周知していきたい。</p> <p>△一方、保護者の評価を見ると「よくできている」の結果が、全校で約75%と児童の評価より20%以上低くなっています。これもアクションプラン1と同様に、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常の児童の姿で評価しているという違いがあると思われます。特に顕著なのが高学年で、児童と保護者の評価の差が約35%あります。高学年になると、スポ少や習い事等もあり、自由に使える時間が少なくなります。その限られた時間の中で1時間程度の家庭学習を毎日継続することは難しいのが現状です。いずれにしても児童と保護者の評価が大きく違っていることは問題であり、今後アンケートの仕方や内容を見直していく必要があると考えています。</p> <p>△学習規律の徹底に向けて、職員で共通理解・共通行動を心がけています。しかし、学年の発達段階や児童個々の特性等により徹底できていないところもあります。児童理解を基本としながら規律ある学習活動が行えるよう努力していきたいと思います。</p> <p>△チャレンジテストの合格が難しい児童が多かったです。漢字や計算問題を繰り返し練習しますが、なかなか定着しません。早めに事前練習に取り組むなどの対策を心がけたいと思います。また、必要に応じて教務主任が、合格が難しい児童の個別学習や再チャレンジテストの指導を行っています。</p> |

【知】かしこく



|       |   |
|-------|---|
| 重点項目  | 【体】健康・安全の指導 ーたくましくー   |
| 重点課題  | 基本的な生活習慣と運動の習慣が身に付いている子供の育成   |
| 現 状   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大休憩や昼休みには進んでグラウンドや体育館へ行き、体を動かす子供が多く、「みんなでチャレンジ3015」にも意欲的に取り組んでいる子供が多い。</li> <li>・日頃から体を動かすことを好み、進んで運動する子供と、わんぱくタイム等特設された時間以外には体を動かさない子供の差が大きい。運動の苦手な子供も無理なく、日常的に運動に親しむことができるような工夫を行っていく必要がある。</li> <li>・基本的な生活習慣が身に付いた子供は増えてきたが、就寝時刻が遅く、睡眠時間が十分でない子供もいる。</li> </ul>   |
| 達成目標  | 「みんなでチャレンジ3015」の達成率が90%以上になることを目指す。   |
| 方 策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①週2回のわんぱくタイム（大休憩時）には、ランニング（晴天時）と長なわとび（雨天時）等に取り組み、運動する喜びを感じ取ることができるようにする。</li> <li>②体育委員会による企画や「みんなでチャレンジ3015」「なわとびカード」等の活用により、運動する環境づくりを行い、運動する習慣が身に付くように努める。</li> <li>③「みんなでチャレンジ3015」の達成状況を掲示したり、紹介したりすることにより意欲付けを図る。</li> </ul>   |
| 最終報告  | A（2月末達成率）97.9%（低…100%、中…95.7%、高…98.1%）  |
| 成果と課題 | <p>◎2学期の振り返り週間では、全校で約90%の児童が、「よくできた」と答えています。アンケートをした時期が、11月末の寒い時期だったこともあり、高学年は1学期より10%程度下がっていますが、低・中学年では若干ですが、1学期を上回っています。これは、冬場の運動である縄跳び運動をする児童が増えてきたためだと考えられます。冬場は毎日コンスタントに運動することが難しくなります。保護者の声にも「体育館での活動を増やしてほしい」という要望や「みんなでチャレンジ3015に加えて、もう一工夫運動の場を設けてはどうか」などの意見もありました。冬場の運動機会の確保と充実に取り組んで参ります。</p> <p>◎週2回あるわんぱくタイムには、晴天時にはグラウンド走、雨天時・冬期間には縦割りグループによる長なわとびや短なわとびに取り組んでいます。大休憩や昼休みには、グラウンドや体育館で元気に遊んでいる児童が多く、体を動かすことが好きな児童が多いです。保護者アンケートでも「わんぱくタイムがあることで、意欲的に体を動かすことができていると思います。他の学年と触れ合えるいい時間になっていると思います。（中学年保護者）」という意見もありました。逆に、「わんぱくタイムが、週2回だけではなくもっと増やすことはできないでしょうか。特に冬期間は体を動かすことが少なくなりがちで風邪予防等の体力作りのためにも増やしてほしいです。（中学年保護者）」という意見もありました。他の活動とのバランスも考えて次年度検討していきたいと思います。</p> <p>△決められた時間までに就寝していない児童が固定化しています。保護者アンケートでも「iPadを見ているのですが、『自分から時間を決めて見る』と言ったわりに、『これ見てから』と宿題やお風呂を後回しにすることが増えました。今後、ゲーム等を買うべきか悩んでいます。（低学年保護者）」という意見や「だんだん就寝時刻が遅くなっています。布団には入っているものの本を読んだりして10時頃まで起きていることが多いです。（中学年保護者）」などの意見もありました。今後とも、児童への指導を進めるとともに保護者への啓発も含め、家庭と連携しながら指導を継続していく必要があります。</p> |

【体】  
たくましく

## アクションプランに関するアンケートの集計結果をお知らせします

児童の自己評価と保護者の評価について、それぞれ1学期の結果と2学期の結果を並べて表示します。

### ◆児童自己評価

「振り返り週間」(1学期…6/27～7/1、2学期…11/28～12/2)中、「○」を付けた日が4日以上だった児童の割合を「達成した」としてグラフに表しました。

|         |       |             |          |
|---------|-------|-------------|----------|
| 5日・4日   | 3日    | 2日・1日       | 0日       |
| A:よくできた | B:できた | C:あまりできなかった | D:できなかった |

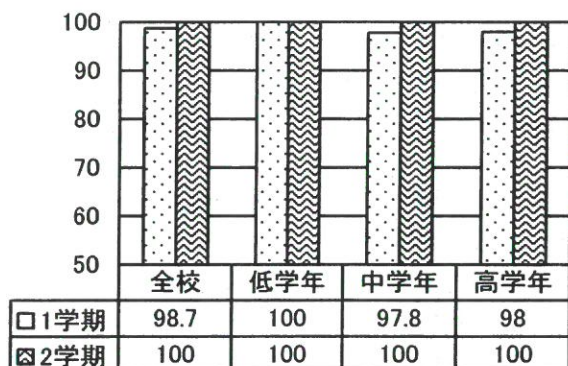
### ◆保護者評価

4段階(A:よくできている、B:できている、C:あまりできていない、D:できていない)評価のうち、AとBを合わせた割合を「達成した」としてグラフに表しました。

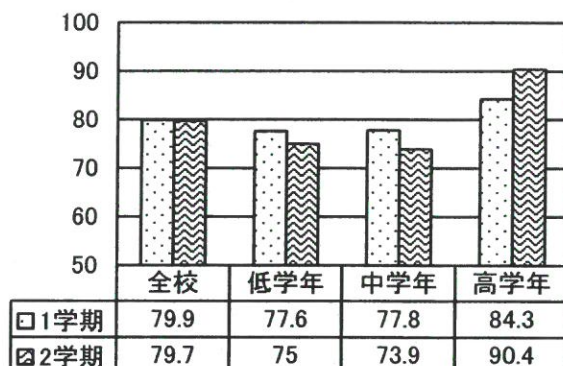
## アクションプラン1【徳】やさしく

### あいさつをしたり、ぼかぼか言葉(やさしい言葉)を使ったりしている

#### 児童自己評価



#### 保護者評価



### 考察・方策

- 今年度も児童会では「あいさつは ニコニコと 大きな声で自分から」を目当てとして挨拶運動に取り組んできました。毎朝、計画委員会の児童が交代で幟旗を持って挨拶を呼びかけたり、挨拶ボランティアの児童が、ビッグハンドで挨拶を交わしたりしながら登校してくる児童を迎えたりする活動を行いました。一日をさわやかな挨拶で始められるようにすることを通して、挨拶の日常化に努めています。また、2学期も地域の皆様にご協力いただき「さわやかあいさつ運動」を実施しました。どの学年もこの活動を楽しみにしており、朝から張り切って挨拶を呼びかける児童の姿が見られました。今後とも朝の挨拶





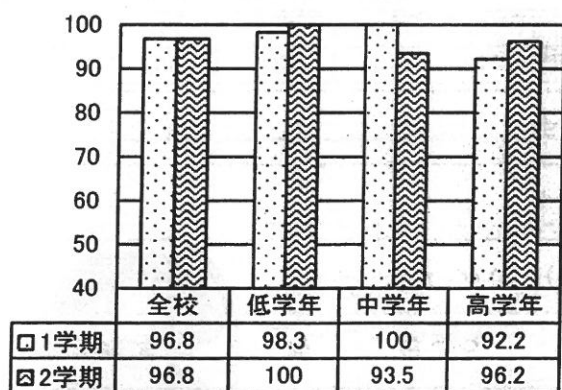
挨拶だけではなく、来校者への挨拶等、場に応じた適切な挨拶ができるよう取り組んで参ります。

- 2学期の振り返り週間では、「あいさつをしたり、ぼかぼか言葉を使ったりしている。」は、全校児童が「よくできた」と答えています。これは、この期間、子供たちが意識して挨拶をしていた結果であると思われます。ただし、本年度より目当てに加えた「ぼかぼか言葉」の評価は、あまり加味されていないように思われます。一方、保護者の評価を見ると、「よくできている」の割合が、全校で約80%と、児童の評価と比べ約20%低くなっています。この違いは、評価する場面が児童は「学校」、保護者は「家庭」であることとともに、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常的な姿全般を評価していることによるものではないかと考えます。また、評価の中心になっているのが、児童は「挨拶（特に朝の挨拶）」であるのに対し、保護者は、「ぼかぼか言葉」を含めた「言葉遣い」であることにも違いがあるように思われます。保護者から寄せられた意見の中には、「ぼかぼか言葉が定着するよう繰り返し伝えてほしい」というような要望や「家庭では言葉遣いがよくない」という課題もありました。好ましい人間関係を築くためにも、相手を思いやる言葉や言葉遣いはとても大切なものです。今後も、挨拶はもちろんのこと、正しい言葉遣いや相手を思いやる言葉を使うことができるよう、いろいろな場を通して指導していきたいと思えます。

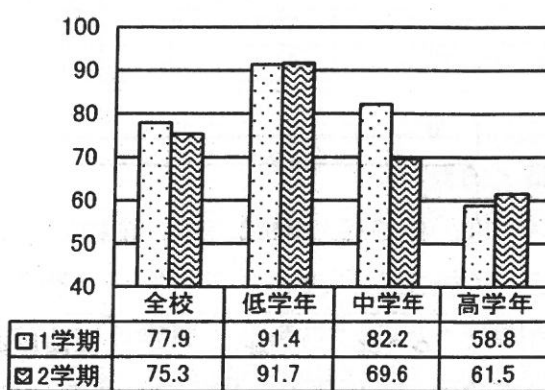
## アクションプラン2【知】かしこく

### 家で（10分×学年）以上勉強している

児童自己評価



保護者評価



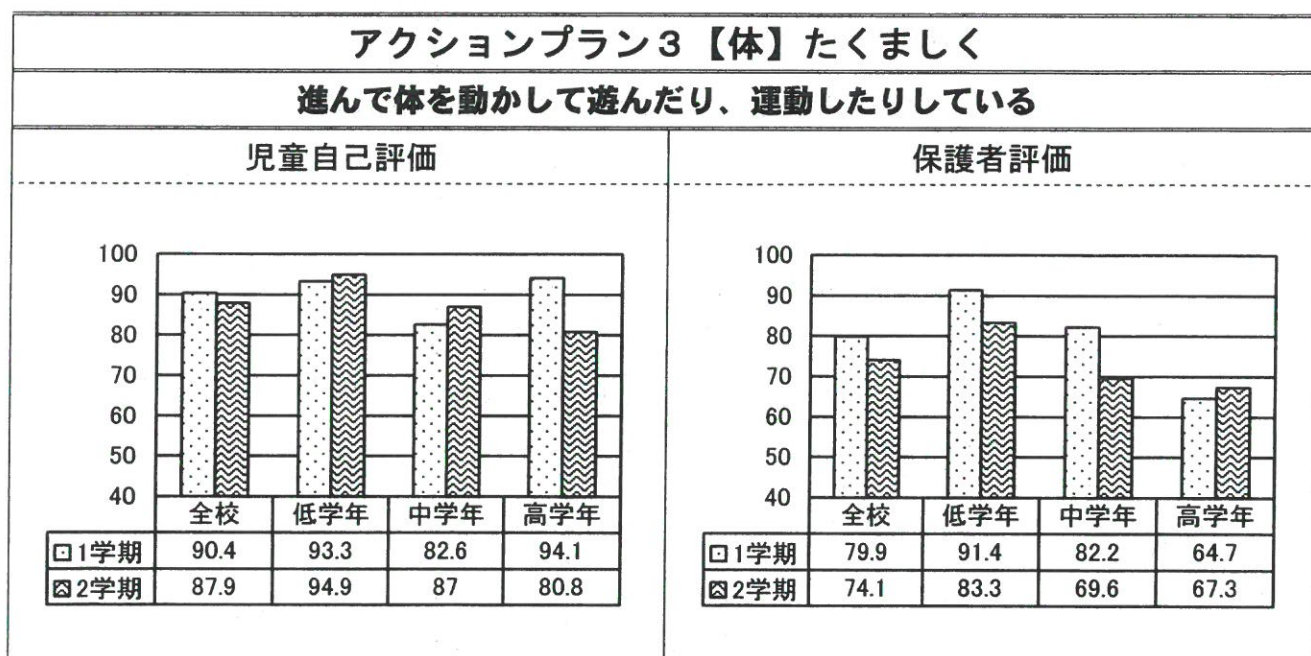
### 考察・方策

- 2学期の振り返り週間では、1学期と同様、約97%の児童が「学年の目標時間以上、家庭学習をした」と答えました。学年間で若干の違いはありますが、概ね目標は達成されているものと思えます。その要因としては、このアンケートを行ったの



が、2学期の学習のまとめの時期だったということもありますが、自学ノートを使った家庭学習が定着していることが考えられます。これまでは、目標時間が長くなる高学年で達成されにくい傾向にありましたが、今回のアンケートでは6年生が100%達成するなど、目当てを意識して学習しようとする児童の姿が伺えます。

- 一方、保護者の評価を見ると「よくできている」の結果が、全校で約75%と児童の評価より20%以上低くなっています。これもアクションプラン1と同様に、児童は振り返り週間中の評価であるのに対し、保護者は、日常の児童の姿で評価しているという違いがあると思われます。特に顕著なのが高学年で、児童と保護者の評価の差が約35%あります。高学年になると、スポ少や習い事等もあり、自由に使える時間が少なくなります。その限られた時間の中で1時間程度の家庭学習を毎日継続することは難しいのが現状です。いずれにしても児童と保護者の評価が大きく違っていることは問題であり、今後アンケートの仕方や内容を見直していく必要があると考えています。



#### 考察・方策

- 2学期の振り返り週間では、全校で約90%の児童が、「よくできた」と答えています。アンケートをした時期が、11月末の寒い時期だったこともあり、高学年は1学期より10%程度下がっていますが、低・中学年では若干ですが、1学期を上回っています。これは、冬場の運動である縄跳び運動をする児童が増えてきたためだと考えられます。冬場は毎日コンスタントに運動することが難しくなります。保護者の声にも「体育館での活動を増やしてほしい」という要望や「みんなでチャレンジ3015に加えて、もう一工夫運動の場を設けてはどうか」などの意見もありました。皆様からいただいたご意見を参考にしながら、引き続き、冬場の運動機会の確保と充実に取り組んで参ります。





保護者アンケート 自由記述まとめ

2学期末に実施した第2回保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見、思いや願い等を真摯に受け止め、全教職員で共有し、学校運営の改善に役立てていきたいと思ひます。

※ 紙面の都合上、皆様のご意見の意図を変えないよう表現を変更したり、重複したものをまとめたりしています。ご了承ください。

☒ 田 圃と学年を記しています。同年代のお子さんをおもちの保護者の意見も参考にさせていただければと思ひます。

【○…よい面・成果、▲…課題、★…対策、希望】

## 1 やさしく（温かい人間関係づくり）

### 【4A運動（挨拶、集まり、後始末、安全）】

○4A運動のあいさつ運動はすばらしいと思ひます。今後も続けてもらいたいです。☒

○挨拶や言葉遣いはよくできていると思ひます。☒

○温かい人間関係づくりがとても大切な事だと思ひます。みんな元気よく挨拶がちゃんとできていて気持ちがよいです。ほかほか言葉についても聞いたりするとホッとします。☒

○接遇という点では、どの子もきちんとした言葉遣い、態度等、とてもきちんとできていると思ひます。☒

○挨拶はできています。下学年や目上の方に対しても優しい言葉遣いをしていると思ひます。☒

★学校、学童のまわりに街灯が少なく子供や車が見えにくいです。事故が起きてからでは遅いので、もう少し増やされてもよろしいかと思ひます。周りに田んぼもあり難しいと思ひますがご検討ください。☒

★用水路で遊びながら下校する姿を時々見かけます。用水路は子供たちにとっては、とても魅力的な場所です。魅力的なものには、大きな危険がはらむもの、軽い気持ちで覗いたりすると、大きな事故につながることを子供たち全員に知ってほしいです。☒

★国道8号線から高速道路（黒部 IC）宇奈月へ続く道について、これから積雪時になると歩道の除雪が追いつかず、やむを得ず車道を歩かなければならない時があります。毎年、下校時、子供が車と並んで歩いている姿を見かけることがありドキドキしています。トラックの量も非常に多いので、なるべく通らずにすむ道順を指導していただければと思ひます。とはいえ、違う道もそういうときは狭かったり、除雪されていなかったりするのかもしれませんが。☒

▲挨拶、言葉遣い、後始末、いろいろな教育活動は、子供のためにとってもよい活動ですが、家庭では自分から進んで何もしないので困ります。☒

### 【縦割り活動（給食、長縄跳び、スマイル集会）】

○縦割り班活動により、学年を超えた交流やつながりが形成されていて、比較的「小さな学校」として、その利点、よいところが引き出されていると思ひます。上級生は、下級生をかわいがり面倒を見て、下級生は上級生を慕いお手本にするということが自然にできていてとてもいいことだと思ひます。☒

○縦割り班活動のおかげで、他の学年の子供の顔を知っていたりするのでもいいことだと思ひます。☒

○縦割り班活動で、いろいろな学年の子供と給食を食べることが、本人は楽しそうでよいと思ひます。☒

○縦割り班活動は、他の学年の子と仲良くできるし、上の学年の子が下の学年の子に声かけや、優しく接してくれるのでよいと思ひます。☒

○給食の席が、他の学年の子と触れ合えるのでもいいと思ひます。その時しゃべったことを楽しそうに話してくれました。☒

○縦割り活動は、いろんな学年の人と交流がもててとてもいいと思ひます。☒

○いろいろな学年と触れ合う時間もよいと思ひます。☒

- 給食は、他の学年の子と同じテーブルで食べていると聞きました。普段は話さない学年の子とも仲良くなれるきっかけになりよいと思います。【中】
- 異学年交流があることはいいことだと思います。下の学年に優しくしていける心をもてたらよいと思います。【中】
- 別の学年の子供とも仲良くしているみたいでいいと思います。【中】
- 学年が違う子の親や名前もよく知っていて、とてもいいことだと思います。【高】
- 上学年と下学年と一緒に活動する機会がたくさんあってよいと思いました。【高】
- 縦割り給食で他の学年の子と話すのが楽しいようです。体を動かすより本を読んだりするのが好きです。【高】
- 全学年、みんな仲良しですてきだと思います。【高】
- 他の学年との交流する機会が多くてとてもよいと思います。【高】
- ★休憩時間など他学年の児童とも交流があると聞いています。上級生・下級生とたくさん触れ合っほしいです。【低】
- ★みんなで仲良く学校へ行ってもらいたいです。(登校)【中】

#### 【ふれあい週間（生活アンケート、個人面談）、教育相談（スクールカウンセラー）】

- ★苦手な同級生がいて、家ではどうすればよいか悩んでいた時、先生からのアンケートがあったようです。そのアンケートに正直に書くことができたようで、以前よりは悩みが解決されたようです。特にトラブルや問題のあったクラスでは、こまめにアンケートや面談があれば、問題の早期発見や解決になると思いますのでよろしくお願いします。【低】
- スクールカウンセラーがいることは、いいことだと思います。私が子供の頃は悩みを相談できる大人が学校にはいなかったもので、子供たちが気軽に相談できる大人が、学校にいることはすばらしいことだと思います。【高】

#### 【ぼかぼか言葉（各学年のぼかぼか言葉揭示）】

- ★ぼかぼか言葉が定着するように繰り返し伝えてほしいです。(特に我が子に関しては)【中】
- ★ぼかぼか言葉は、日頃から自然に出るようになってくれればと思います。【高】
- ★「ぼかぼか言葉」はよいのですが、物足らないのでプラスアルファの意識付け、習慣付けを望んでいます。【高】
- ★ぼかぼか言葉に積極的に力を注いでもらいたいです。上学年に対して低学年の言葉遣いがあまりよいとは思いません。どうして言葉は大切なのか、もっと具体的に補足を入れながら指導してほしいです。学校だけではなく、家庭でも取り組む必要があります。【中】
- ▲友達に対しては、あまり感じませんが、親や兄弟に対してきつい言葉遣いをします。その都度、相手がどんな気持ちになるかを知らせていますが、なかなか直らないです。【低】
- ▲反抗期のせいかな、学校では言っているかもしれない「ぼかぼか言葉」が、家では「ちくちく言葉」になることが多いように思います。【中】

#### 【家族との会話】

- いつもお世話になっております。毎日学校へ行くのが楽しみな様子と、家でも学校での楽しかった出来事や初めて知ったり学んだりしたことを生き生きと語ってくれている姿を見ることばかりで、先生方やお友達の方々にもとてもよくしていただいていること、日々実感しております。主人とともに感謝しております。【中】
- 同学年だけでなく、他学年との出来事の会話をしてくれます。主に給食時の話ですが、楽しい時間を過ごしているなあと感じています。【中】
- 学校が楽しいようで、以前より折に触れ学校であったことを話してくれるようになりました。【高】

#### 【その他】

- 学校の方針、学年の取組について気になることはありません。【中】
- 学校生活を楽しんでいるようで嬉しく思います。【中】



★学年が上がるにつれ、人間関係も難しくなっていると感じます。子の思いと親としての思いが同じではないので、子供の思いを尊重しつつ、どうすべきか伝えていきたいと思えます。学校側としては、適切な対応、言葉がけをしてくださり、いつもありがたく思っています。[高]

▲「お友達のすごいところ自慢」は、幼い頃から上手なのですが、自己肯定感というのでしょうか「自分自慢」がやや苦手なようで、校長先生のお話にもありましたように「自分がよくて、みんなもよい」を目指し、もっと自分自身を大切にできる子になってくれるよう、家でも関わって参りたいと思っております。ご指導のほど、親子ともどもよろしく願いいたします。[中]

▲子供たちから見て、注意と怒られたの違いが理解されているか気になります。[中]

## 2 かしこく (分かる授業づくり)

【基礎基本の定着 (漢字・計算大会、チャレンジテスト)】

○先生のご指導のおかげで字がすごくきれいになりました。一つ一つ丁寧に採点していただきありがとうございます。[低]

★授業内容を理解していても日がたつと忘れてしまうので、そういう復習も必要かと思えます。[中]

★先生の仕事がまた増えてしまうかもしれませんが、朝の10分くらいでいいので漢字や計算の小テストをしていただけたら嬉しいです。間違えたところが分かればそこを集中して勉強できるかと思えます。(自分の子供の時、小テストしていたことを思い出させていただきました) [中]

★漢字・計算チャレンジテストは、とてもよいと思えます。もう少し回数があればよいと思えます。[高]

【学習規律やルールの指導 (「学習のきまり」の配布、話し方や聞き方の約束)】

★話し方や聞き方をもっと勉強して理解できるようになってほしいです。話す・聞く、どちらも苦手なので心配ですが、何事も集中して行ってほしいです。自学も自分から進んで取り組むようになり安心しています。[低]

★決まりごとについては、なぜ、どうして、守らないといけないのか、守らなかったらどうなるなど、具体的に分かるように身近なことを例にあげるなど、簡潔に分かりやすく語ってほしいです。[中]

▲体力面でも学習面でもいろいろなことにおいて、本当はもっとできるのに、自分で「どうせこれくらいしかできん」とセーブしてしまうところが見られます。「もっとできる力があるよ」と励ましてみたり、頑張ったことに対してほめてみたりしますが、なかなか自信につながりません。[高]

▲社会が多様化しているように親の考え方も多様になっており、学校との関わり方が難しくなってきたと感じます。(下学年を見ていると特に)一つ一つの声を拾い対応していくことも大切ですが、大人もルールを守ることを考えていかなければならないと思えます。先生方、ありがとうございます。[高]

【家庭学習の推進 (自学ノートの展示、自学ノート7冊達成者の表彰)】

○自学ノートがあるおかげで、家での学習も進んでするようになり助かっています。[低]

○自学ノートは、7冊達成を目指して頑張ってくれるので宿題以外の勉強をしてくれなくても、何とか日々勉強をしてくれている気がします。[低]

○自学ノートは、毎日大変ですが自分の興味のあることや苦手な勉強を頑張ることができてよいと思えます。[低]

○子供が、表彰してほしいので自学を7冊目標に頑張っています。これからも達成者の表彰は続けてほしいです。[低]

○家庭学習がんばり週間は、意欲的に勉強できるよい機会となっています。[低]

○どうしてもワンパターンになってしまうので、自学ノートの展示はとても参考になります。[低]

○自学ノートは7冊目指して頑張っています。7冊達成が励みになっているようです。[中]

○自学を毎日することで学習能力が上がると思うのでよいと思えます。[中]

○自学ノートの中身は、ワンパターンであり濃いとはいえませんが、7冊達成という目標がもてるので、表彰はとてもよいなあと感謝しています。[中]

○毎日勉強する習慣が付いてよいことです。[高]

- 自学ノートの取組を6年間続けてきているので定着していてよいと思います。[高]
- 漢字や計算の基礎を繰り返し行っているのでよいと思います。[高]
- 自学ノート7冊達成者の表彰で意欲的に取り組むようになったのでよかったです。[高]
- ★自学ノートの使い方が少し雑になってきています。時間を見つけて問題を書いてあげるなど、しなければならぬと思っています。[低]
- ★家庭学習は、自学ノート自体はあまり進みませんが、家庭で用意したドリル等にこつこつ取り組んでいます。自学ノートだけの評価ではなく、難しいとは思いますが、家庭学習全体を認めて(ほめて)もらえる機会があるとよいです。[低]
- ★自学ノートの展示は、親がなかなか見ることができないので学校HPに掲載していただけると参考になります。(個人情報のため、名前・学年は消してもかまいません) [中]
- ★学習面では、自分で計画を立てて行っていますが、やり方や内容についてもう少し工夫をしてほしいです。[高]
- ★学年が進むにつれ、要領よく自学ノートを終わらせる方法を考えるようになったと思うので、少し宿題を増やしてほしいと思います。[高]
- ▲学校も勉強も楽しいようですが、宿題は嫌そう(苦手)です。基礎学習の大切さを理解させ、家庭学習の習慣付けをすることの大変さを感じます。[低]
- ▲自学は、ワンパターンになりがちです。また、早く終わらせたいがためにじっくり勉強していない状況です。[中]
- ▲自学ノートも毎日やっていますが、習い事もあるので、7冊達成が難しいかもしれません。[中]
- ▲自分が子供の時のほうが、漢字・計算の繰り返しの宿題は多くて、結果的にはよかったと思っています。[高]
- ▲学年が上がるにつれ、基礎学習や家庭学習を軽視しがちに思います。親の言うことも素直に聞かなくなくなり、家での習慣付けに苦労しています。[高]
- ▲まだまだ家庭学習の習慣が身に付いていないように思います。自学ノートの内容を見てもいつも同じようなことを書いているので、もっと自分で工夫してやってくれるといいのですが。[高]
- ▲学校できちんと取り組んでいただいているのですが、家庭学習では、60分の学習は行えていない現状があります。[高]
- ▲漢字大会や計算大会があるときは、頑張っている様子は見られますが、普段は全然やれていません。[高]

#### 【体験活動(校外学習、地域活動、一人一鉢運動)】

- どの教育活動も子供たちの教育の上でよい活動だと思います。[低]
- いろいろな取組を通してしっかり成長させてもらっているのだと感じます。ありがたいです。これからもよろしく願いいたします。[低]
- 何でも一生懸命頑張ったことに対して賞状がもらえることが嬉しいようで意欲につながっています。家で怒られてばかりいる分、学校でたくさんほめられて、楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。[低]
- いろいろと大切だと分かっているけど家庭ではなかなかできません。学校での取組に感謝しています。ありがとうございます。[低]
- 体験活動は、普段親が経験させてあげられないこともできるので、とてもよいと思います。[低]
- 校外学習で、ザリガニ釣りや図書館に行くなど、身近な自然や施設の利用の仕方等の様々な体験をさせてもらってとてもよいと思います。[低]
- 学校では、たくさんのことを実施されていると思い十分だと感じています。[低]
- フレンド集会等、人前で発表する機会がある取組は、とてもよいと思います。大人になっても人前に立つことは多いと思います。一步踏み出す勇氣、いろいろなことにチャレンジできる取組はよいと思っています。[低] [中]
- 体験活動がとても楽しみで積極的に参加できている様子です。体験したことをたくさん話してくれるのでうれしいです。これからも機会を設けてください。[中]
- 授業の他に様々な活動をしていただき、とても学校を楽しみにしています。[中]
- 校外学習では、実際にどんな事をしているのか、目で見て学べるのでよいと思います。[中]
- 校外学習(山本家・原信の見学)が、とても楽しかったようです。興味や関心が広がって関連する本を読んだりするようになりました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



中

○校外学習で刺激を受け、いろいろなことや仕事に興味をもつようになりよかったです。中

○校外学習になると嬉しそうに学校へ行きます。その姿を見ると親も嬉しいです。中

○朝の会でのスピーチが大変よいと思います。新聞を読んだり、テレビを見ながら話題を見つけたり調べたりしています。高

○委員会活動等、役割を与えられて全うできるよう頑張っているようなのでよかったと思います。

高

○委員会や係活動を意欲的に取り組んでおり、一人一人が頑張っていると思います。高

○体験活動など、いろいろな活動があるので楽しみながら行っているようです。高

★机上で学んだことを体験学習や屋外活動などを通して「活かした知識」にできるような活動が増えればと思います。低

★今年度は、収穫祭と保育所の友愛セールが同一日でした。行事が重ならないようにしてほしいです。低

★やらされている感があり、自分たちでやりたいと思う様な方法でもっと楽しい取組があれば全員参加率も上がると思います。中

### 3 たくましく（心身の健康づくり）

#### 【わんぱくタイム（全校ランニング、長縄跳び）】

○わんぱくタイムがあることで、意欲的に体を動かすことができていると思います。他の学年と触れ合えるのでいい時間になっていると思います。中

★わんぱくタイムを週2回だけでなく、もっと増やすことはできないでしょうか。（特に冬期間は体を動かすことが少なくなりがちで風邪予防等の体力作りのために。）中

#### 【すこやかタイム（保健便りを活用した保健指導）】

▲iPadを見ているのですが、「自分から時間を決めて見る」と言ったわりに「これ見てから」と宿題やお風呂を後回しにすることが増えました。「9時までには就寝する」を自主的に頑張っています。今後ゲーム等を買うべきか悩みます。低

▲スポ少（野球）を始めて1ヶ月、1日のスケジュールというか時間の使い方がまだできず、いっぱいいっぱい状態です。中

▲だんだん就寝時刻が遅くなっています。布団には入っているものの本を読んだりして10時頃まで起きていることが多いです。中

#### 【みんなでチャレンジ3015】

○毎日運動も続けています。中

★力が有り余って、違うことに使ってしまうことが低学年にはあるように思うので、体を使う3015にプラスして、もう一工夫運動の場を設けてはよいのではないかと思います。中

★冬なのでたくさん体を動かしてもらいたいです。中

★運動不足なのか体育で跳び箱をすると筋肉痛になりました。冬に向けて室内でも体を動かすようにしたいです。高

★運動するのは本人にとっては苦手意識があるので、散歩したり一緒に自転車で出かけたり、体を動かすことを一緒にやっていきたいです。高

★「リラックス体操」がよいと思うので、保護者の皆さんにもその存在を知ってほしいです。高

★季節的に寒くなり屋外で遊ぶ、体を動かすのは難しくなっています。是非、体育館での活動を増やしてください。高

★学校以外では、スポーツ少年団の活動以外、なかなか運動する機会がないので、室内でできる運動など一緒にできればよいと思います。高

平成29年6月30日

保護者 各位

黒部市立荻生小学校  
校長 金三津 ひろみ

第1回 保護者アンケートのご協力をお願い

記入された方のお名前 [ \_\_\_\_\_ ]

1 学校では、児童の自己評価として下記のような「がんばりカード」を実施しています。ご家庭で保護者の皆様から見てお子様はいかがでしょう。ご家庭での様子も参考に、指導に活かしたいと思えます。各項目についてA B C Dでお答えください。なお、本校に2人以上お子さんがいらっしゃるご家庭では、一人一人のお子さんの学年に応じて記入し、それぞれの学級で提出してください。

お子さんの学年  年

|   | 項目 (A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:できていない) | A B C D |
|---|---|---------|
| や | あいさつをしたり、やさしい言葉遣いをしたりしている。                  |         |
| か | 家で(10分×学年)以上勉強している。                         |         |
| た | 進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている。                    |         |

2 学校の教育活動に対して、よい点、気になる点がありましたら、ご感想やご意見をお聞かせください。

|                                       |  |  |
|---------------------------------------|--|--|
| <p><b>やさしく</b></p> <p>◇温かい人間関係づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4A運動</li> <li>・縦割り活動</li> <li>・ふれあい週間(教育相談)</li> <li>・体験活動</li> <li>・ぽかぽか言葉</li> </ul> |  |
| <p><b>かしこく</b></p> <p>◇分かる授業づくり</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着</li> <li>・学習規律やルールの指導</li> <li>・家庭学習の推進</li> </ul>                             |  |
| <p><b>たくましく</b></p> <p>◇心身の健康づくり</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わんぱくタイム</li> <li>・すこやかタイム</li> <li>・とやまゲンキッズ作戦</li> <li>・みんなでチャレンジ3015</li> </ul>      |  |
| <p>その他</p>                            |  |  |

※ 空白の欄があってもかまいません。封筒に入れて、7月7日(金)までに、担任へ提出してください。ご協力をお願いします。



平成 29 年 1 1 月 2 7 日

保護者各位

黒部市立荻生小学校  
校長 金三津 ひろみ

第2回 保護者アンケートのご協力をお願い

記入された方のお名前 [ \_\_\_\_\_ ]

1 学校では、児童の自己評価として下記のような「がんばりカード」を実施しています。ご家庭で保護者の皆様から見てお子様はいかがでしょう。ご家庭での様子も参考に、指導に活かしたいと思えます。各項目について ABCD でお答えください。なお、本校に 2 人以上お子さんがいらっしゃるご家庭では、一人一人のお子さんの学年に応じて記入し、それぞれの学級で提出してください。

お子さんの学年  年

| 項目 (A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:できていない) | ABCD |
|---|------|
| や あいさつをしたり、やさしい言葉遣いをしたりしている。                |      |
| か 家で (10分×学年) 以上勉強している。                     |      |
| た 進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている。                  |      |

2 学校の教育活動に対して、よい点、気になる点がありましたら、ご感想やご意見をお聞かせください。

| 項目                          | 具体的な取組  | 意見・感想欄 |
|-----------------------------|---|--------|
| <b>やさしく</b><br>◇ 温かい人間関係づくり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4A運動 (挨拶、集まり、後始末、安全)</li> <li>・ 縦割り活動 (給食、長縄跳び、スマイル集会)</li> <li>・ ふれあい週間 (生活アンケート、個人面談) (教育相談) (スクールカウンセラー)</li> <li>・ 体験活動 (校外学習、地域活動、一人一鉢運動)</li> <li>・ ぽかぽか言葉 (各学年のぽかぽか言葉掲示)</li> </ul> |        |
| <b>かしこく</b><br>◇ 分かる授業づくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎基本の定着 (漢字・計算大会、チャレンジテスト)</li> <li>・ 学習規律やルールの指導 (「学習のきまり」の配布、話し方や聞き方の約束)</li> <li>・ 家庭学習の推進 (自学ノートの展示、自学ノート7冊達成者の表彰)</li> </ul>  |        |
| <b>たくましく</b><br>◇ 心身の健康づくり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わんぱくタイム (全校ランニング、長縄跳び)</li> <li>・ すこやかタイム (保健便りを活用した保健指導)</li> <li>・ とやまゲンキッズ作戦</li> <li>・ みんなでチャレンジ 3015</li> </ul>   |        |

※ 空白の欄があってもかまいません。封筒に入れて、12月4日(月)までに、担任へ提出してください。ご協力をお願いします。

平成29年度 1・2年生 (できたらO、できなかつたらXをかこう。)

|                                    |  | 年   |                            |    | なまえ |           |
|------------------------------------|--|---|----------------------------|----|-----|-----------|
|                                    |  | 26  | 27                         | 28 | 29  | 30        |
|                                    |  | 月   | 火                          | 水  | 木   | 金         |
| <p>ふりかえってみよう (1学期)</p> <p>こうもく</p> |  |   |                            |    |     |           |
| や                                  | あか<br>明るく大きな声で<br>つかったりした。                                   | こえ<br>あいさつをしたり<br>つかったりした。                                  | ことば<br>ぼかぼか言葉を<br>つかったりした。 |    |     | できた<br>かず |
| か                                  | いえ<br>家で _____ 分<br>以上 べんきょうした。                              | いじょう<br>以上 べんきょうした。   |                            |    |     |           |
| た                                  | うご<br>体を動かして遊んだり、運動したりして、「みんなでチャレン<br>ジ3015」のOを2つ以上ぬることができた。 | うんどう<br>運動したりして、「みんな<br>でチャレンジ3015」のO<br>を2つ以上ぬることが<br>できた。 |                            |    |     |           |

自分のふりかえり

平成29年度 3・4年生 (できたらO、できなかつたらXをかこう。)

### ふりかえってみよう(1学期)

|   | こうもく  | 年  |    |    | 名前 |    | できた<br>か<br>ず |
|---|---|----|----|----|----|----|---------------|
|   |   | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |               |
|   |   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  |               |
| や | あか<br>明るく大きな声で<br>あいさつをしたり<br>ぼかぼか言葉<br>ことば<br>をついたりした。 |    |    |    |    |    |               |
| か | 家で _____ 分<br>いじょう<br>以上 勉強した。                          |    |    |    |    |    |               |
| た | 体を動かして遊んだり、運動したりして、「みんなでチャレン<br>ジ3015」のOを4つ以上ぬることができた。  |    |    |    |    |    |               |

自分のふりかえり



平成29年度 5・6年生 (できたらO、できなかつたら×をかこう。)

|   |   | 名前 |    |    | できた<br>か |
|---|---|----|----|----|----------|
|   |   | 年  | 28 | 29 |          |
|   | ふり返ってみよう(1学期)   | 26 | 27 | 28 | 30       |
|   | こうもく  | 月  | 火  | 水  | 金        |
| や | あか<br>明るく大きな声で あいさつをしたり ぼかぼか言葉 <sup>ことば</sup> を<br>つかったりした。 |    |    |    |          |
| か | 家で _____ 分 <sup>いじょう</sup> 以上 勉強した。                         |    |    |    |          |
| た | 体を動かして遊んだり、運動したりして、「みんなでチャレン<br>ジ3015」のOを4つ以上ぬることができた。      |    |    |    |          |

自分のふり返り